

目次

I. オンライン編の紹介 & アンケートのお願い

II. 筑波大学周辺の地図

III. 幹部紹介

大学編

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1 入学式までの過ごし方 | 5 教職について |
| 2 総合学域群の歩き方 | 6 学類紹介 |
| 3 移行についてこれだけは
知っておいて欲しいこと | 7 サークル活動 |
| 4 総合生のための履修登録ガイド | 8 履修モデル |

生活編

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 初めてのひとりぐらし | 4 つくばの周辺施設 |
| 2 学生宿舎見聞録 | 5 筑波大生のアルバイト |
| 3 自宅通学について | 6 筑波大生の自転車事情 |

IV. 編集後記

オンライン編 (紙面での掲載はありません)

- 履修のコツ
- 専門導入科目レビュー
- 先輩に聞いた! 1人暮らしのコツ
(記事「初めてのひとりぐらし」より)
- つくばに来るならおすすめのアプリ
- 筑波大辞典

オンライン編記事は
こちらから



オンライン編の紹介 & アンケートのお願い

オンライン編の紹介

目次にあります通り、今年はオンライン限定の記事を執筆いたしました。目次にあるQRコードを読み取ると、オンライン編各記事のPDFが掲載されているウェブサイトにつながります。ラインナップは

- 『履修のコツ』
- 『専門導入科目レビュー』
- 『先輩に聞いた! 1人暮らしのコツ(記事「初めてのひとりぐらし」より)』
- 『つくばに来るならおすすめのアプリ』
- 『筑波大辞典』

の5本です。是非、読んでみてください!

アンケートのお願い

総合学域群の新歓委員では入学前の新入生に向けてこのような新歓パンフレットを毎年発行して、お届けしております。この慣習は来年以降も続く予定であり、是非、以降のパンフレットのためにご意見を聞かせていただきたいです。右のQRコードからアクセスしていただいたのち、アンケートフォームの質問にご回答ください。

また、これらの記事は全て総合学域群出身の先輩方によって執筆されています。このパンフレットを読んでパンフレット制作に興味を持たれましたら、是非、来年度の新歓委員にご参加ください。例年、募集は夏休み頃から始まります。まだ想像できないくらい遠い話だと思いますので、今は合格を一杯喜んで、春からの新生活に胸躍らせたり、備えたりしてください。入学までの時間、このパンフレットが良いお供になってくれますように...!





つくばのめっちゃざっくりした地図

記事「初めてのひとり暮らし」

にて紹介されている病院の場所の補足

- ・筑波大学附属病院...天久保2丁目
- ・筑波メディカルセンター病院...天久保1丁目
- ・保険管理センター...天久保3丁目の大学敷地内
- ・つくば桜メンタルクリニック...桜1丁目
- ・ホワイトエッセンス デンタルオフィス ゴリ...吾妻1丁目のトナリエ内
- ・つくばシティ内科クリニック...吾妻2丁目のペDESTリアンデッキ沿い

幹部紹介

皆さん、総合学域群へのご入学おめでとうございます！！2026年度総合学域群新歓委員会の委員長の小林佑太郎と申します。合格して一息ついてる頃かと存じます。今は全力で英気を養いつつ、大学での希望を抱

いていてください。新歓前も新歓中も新歓後も全力でサポートします！勉強のことから遊び・サークル・委員会なんでも聞いてください。僕があなたを最強にします。任せてください。

委員長
小林 佑太郎



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！大学生活は、何をするかを自分で決められる貴重な時間です。だからこそ、自分の選択を大切にしてほしいと思います。そして、「今」を大事にしてください。何気ない毎日や出会いが、きっと大きな意味を持つようになります。一日一日を大切に、自分らしい大学生活を楽しんでください！

副委員長
金川 縁

副委員長
貞廣 宇保

新入生のみんな、入学おめでとう。これまで机に向かってきた終着点がここ、総合学域群だと勘違いしている人は、いませぬよね？あなたたちが立ったのは紛れもない新しいスタート・ラインです。でも大丈夫。このパンフレットと少しの勇気があれば楽しい筑波大生をスタートできます。入学式が先か宿舎入居が先か、みなさんに会えるのを心待ちにしています！



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！これからの大学生活、どんな感じで色を塗っていくかは皆さん次第です！その色塗りの中で、このパンフレットが少しでもみなさんのお役にたてたらいいなと思います！もし何かあれば我々新歓委員をはじめ様々な人に頼っていただけると嬉しいです！改めて入学おめでとう、そしてこれからも頑張れ！！

副委員長・
イベント班長
阿竹 晴紀



新入生の皆さん、合格おめでとうございます！皆さんは春から新しい生活を迎えることになる訳ですが、ワクワクしている人もいればソワソワしている人もいると思います。このパンフレットはそんなワクワクやソワソワに寄り添えるように仕上げたつもりです。これで皆さんの春を少しでも彩れたら嬉しいです。今の気持ちも1つの思い出になるような大学生活になることを祈っています。

パンフ班長
嶋田 真帆



ご入学おめでとうございます！これから楽しい大学生活が始まります！不安なこともあるかもしれませんが、慣れればだんだん不安もなくなっていくので心配しなくて大丈夫です！大学は今までよりも自分のやりたいことが自由に行える場所です。学問、サークル・部活動、アルバイト、人間関係……どれも楽しいことばかりなので、このパンフレットを読んでわくわくしてくれたら嬉しいです！

オリエン班長
橋本 奈央



大学編

01. 入学式までの過ごし方	8
02. 総合学域群の歩き方	12
03. 移行についてこれだけは 知っておいて欲しいこと	29
04. 総合生のための 履修登録ガイド	31
05. 教職について	35
06. 学類紹介	37
07. サークル活動	49
08. 履修モデル	53



入学式までの過ごし方

高校を卒業して夢の大学生になる皆様へ。期待半分、不安半分といったところでしょう。特に、「高校と大学は何が違うんだろう?」「大学生になるにあたって何をすれば良いんだろう?」という疑問はあるはず。そういった声に対応するために、ここでは**合格してから入学式までにやってよかったこと、やらなくてよかったこと**を先輩方に聞いたので紹介します!

やってよかったこと

□ 自分が興味のあるサークルを調べる

新歓に行けばタダ飯を頂けるところが多いです!新歓祭などでもらえるパンフレットなどを見ていろいろなサークルに行ってみてください!ちなみに私はアルティメットサークルINVERHOUSEに所属しています。ぜひ新歓に来てね。

□ 履修する予定の第二外国語をDuolingoで勉強する

大学生といえば二外!良いと思います。ちなみに二外については『履修のコツ』という記事でも触れているのでぜひそちらも参照してみてくださいね(筆者は2日でやめました、笑)!

□ ペンの持ち方の矯正や字をきれいに書けるようにしておく

大学生って意外と字を書く機会多いんですよー。例えば、住民票をつくば市に移すときに新しい住所とかを手書きするのでそこできれいに書けるとかっこいい。あと暇なときにブラインドタッチの練習もするとよい。

□ 新歓パンフレットやもらった資料、学生向けサイトを読み込む

ぜひ読み込んでください!一生懸命つくったので~。総合学域群では様々なイベントを開催するので是非チェックしてみてください!我々新歓委員では次のようなイベントを企画しています。

- 希望移行学類別座談会
- クラス別座談会
- オリエンテーション etc...

このように新入生のみんなをサポートします!これらの情報はLINEをはじめInstagramやX(旧Twitter)で公開していくのでぜひフォローしてね(宣伝だよ笑)。

□ 興味のある講義を探す、履修について大まかに知っておく

細かい履修の組み方に感じてはどうせガイダンスで言われるので、履修ってなんだ?ってことを理解しておくとも良いかも!ちなみに『総合学域群の歩き方』という記事では履修の組み方について触れているのでぜひそちらも参照してみてくださいね。

□ 学校や家の周辺を探索する

商業施設、美味しそうなご飯屋さんなどは調べてみるとよい！(周りの人に教えてあげたら一目置かれるかも…^^)

『つくばの周辺施設』という記事でこの辺は紹介しているので、そこを読んで目的地を決めてから散歩してみるとより楽しくなるかも。

□ 親がいるときにできることをやる

大きめの家具、家電の購入やクレジットカードの発行など。

□ ビジュアルを整える

意外と侮れない。思い切って髪染めてみたり…!

ちなみにおすすめの床屋はune barberさん。おしゃれな空間でスタイリストさんと会話を楽しみながら髪をカットしてもらえ



une barber
茨城県つくば市天久保3-2-3須田テナント101

□ 遊ぶ

大事!!!ほんとに!!!特に地元の友達と遊んでおこう。あとはゲームをやりまくるのもいい。自分はswitchのパワプロで栄冠ナインをずっとやっていた。

□ 自転車の確保

購入、レンタルetc…なんでもいいので用意しておこう。ちなみに筆者は実家から電動自転車をもってきたぞ。毎日が楽だー。ちなみに自転車については『筑波大生の自転車事情』という記事にて細かく紹介されているので是非チェックしてみてね。筑波大学の周りには「井上サイクル」さんや「中島モーターサイクル」さんがいます。多くの方はそれらの自転車屋で購入しているみたい。



(左)井上サイクル 茨城県つくば市天久保3丁目10-5



(右)中島モーターサイクル 茨城県つくば市天久保3丁目8-8

□ 免許について

大学生といえど運転免許を想像する人も多いはず。免許は大きく分けて2つの取り方があるから紹介する。

○ 通い

「免キラ」というところに行くとも色々紹介してもらえる。メリットは自分の好きなタイミングで行けることと、家の近くで受けられること。デメリットは少しお値段が高いことと、人によっては面倒くさくなってしま

○ 合宿

サークルや各学群で主催されることが多い。もちろん個人で申し込んでもよい。ちなみに、毎年総合学域群では免許合宿を主催しているので気になったらぜひ申し込んでみてね(宣伝!)。友達と行くのもよし。友達を作りに行くのもよし。ちなみに筆者はこの総合学域群の免許合宿で新たに友達を3人作った。メリットは最短2週間で卒業できること、そして通いと比べると安いこと。デメリットは県外に行くことが多いこと、真面目にやらないと延泊になってしまうことだ。

このように大まかには2つある。筆者のおすすめは合宿だ。安いし、旅行気分も味わえる。

やらなくてよかったこと

□ 勉強

実は「やってよかったこと」の方にもこの勉強という意見が数多く集まっていた。しかし、個人的にこの時期は勉強するのではなくて遊んだ方がよいと思う。なぜならば、どうせ授業が始まったら嫌というほど勉強することになるからね。ということでたくさん遊んでおこう!

□ バイトに応募する

焦らないでじっくり決めれば良い。特に履修が固まってからのほうがバイトのシフトも組みやすい。ちなみに、『筑波大生のアルバイト』という記事で詳しく触れているのでそちらも参照してみてね。

筆者は塾講師をしています。座り仕事で楽かつ給料も悪くないので良いのですが、コマ給制なので拘束時間ほど稼げている気はしない。他の人は飲食が多いみたい。やっぱり一人暮らしにとってまかないの有無は大きいみたいだね(自分もそろそろ転職したいなあ…)

記事担当：阿竹 晴紀

編集担当：鈴木 琴子

□ 先輩方の生活スタイルや学生生活をまねする

模範的で参考になる先輩も多いが、明らかにまねてはいけない学生生活を送っている先輩も多い(1限の授業には絶対来ない人とか)。その見極めができるようになろう。特に、生活リズムは崩さない方がよい。遅くても24時には寝た方が次の日にも影響が出にくい。あとは朝昼夜3食しっかり食べよう。そうすれば生活リズムも崩れにくくなると思うよ。

□ 入学後の心配をする

意外となんとかなることが多いし、もしチェックメイトになりかけても我々新歓委員や支援室(アカデミックサポートセンター)に相談しに行くことで大体のことは解決する。どーんと気張って行きましょう！

□ X (旧Twitter) にのめりこむ

新歓の情報や学生生活に関する情報など、有益な情報を手にする手段としてXがある。しかし、使い方を誤ると知らなくて良いことまで知ってしまったり、時間を無駄にしたりする。(ちなみに筑波大はタラー(Xをやりにこんでいる人のこと。)がとっても多いんだとか。)

□ 仙人ごっこ

なんだこれ。アンケートの回答に入ってた。とにかくやらなくて良かったらしいです(そりゃそうだろ)。

編集担当の一言

総合学域群の先輩方誰もが、この時期にやったこと・やらなかったことで何かしら後悔していると思います。そんな先輩方からのアドバイスがここにはたくさん詰まっています！今はわからないことだらけでとても不安だと思いますが、憧れの大学生活、良いスタートを切れるようぜひ参考にしてみてください！

総合学域群の歩き方

この記事では、大学で用いられる聞き馴染みのない、しかし履修を組むうえで大事な単語の基礎的な解説から、履修の組み方や移行といった発展的な内容までフォローしています。体系的に執筆したので順番に読んでいって欲しいのですが、かなり長くなってしまったのでStepごとに休憩するのをお勧めします。

Step1.【基礎編】大学のルールを知る。

〈1-1. 単位〉

高校までは学校側が用意したカリキュラムに則って、授業が予め決められていたと思います。ただ、大学からは時間割も自分で決めなければなりません。そこには「単位」という概念が存在します。まずは、充実した大学生活を過ごせるように単位についてしっかりと理解していきましょう！

大学入学後、私達は履修要覧という書物を手に入れます。難読ではあるのですが、履修にまつわるほぼ全てが網羅されています。鍋敷きにしてしまう人もいますが、とても役に立つものです。その履修要覧によると、単位とは「授業科目の修得に必要な学習量を計る基準となるもの」と定義されています。**つまり、その科目の学修の充分性を示す基準**を単位と言うのです。

基準を上回ると、その科目の「単位」という称号が与えられ、これを**単位取得**や**得単**と言います。しかし、授業を受けているだけでは単位は与えられません。基準は成績評価方法という形で定義され、テストで基準値以上の点数を取ったり、クオリティーが一定基準以上のレポートを提出したりする必要があり、この基準を上回らないと学修不十分で単位が与えられないのです。この状態を「**単位を落とした**」だったり、**落単**と言います。

〈1-2. 年間履修上限単位数〉

単位には**年間履修上限単位数**と言うものがあります。単位は科目ごとに設定されていますが、年間履修上限単位数は文字通り、1年間で取得できる単位数、ひいては履修できる科目数を制限するものです。筑波大学の年間履修上限単位数は**45単位**ですが、例えば1単位の授業のみで履修を組む場合は年間45個の科目しか履修できません。しかし、**教職科目といった一部の科目は卒業要件に算入しない場合に限り、年間履修上限単位数を超えての履修が可能**です。教職については、このパンフレットにも個別で取り扱っている記事がありますので詳しく知りたい人は**記事『教職について』**をご覧ください。また、**履修したどの科目の成績も優秀な場合は45単位以上の履修を申請することもできたりします。**こちらについては履修要覧かオリエンテーション等で説明があると思います。

さて、学生の大半は年間45単位の取得(フル単)を目指して頑張っているのですが、**大学4年間の間に124~126単位を取得すると大学を卒業できます**(医学類は例外です)。つまり、計算上は3年間で卒業要件を満たすことができます。条件を満たせば3年間で卒業する早期卒業の切符を手に入れられる場合もあります。学類ごとに条件が異なるので、これも履修要覧で確認してください。履修要覧を読み解けない場合はアカデミックサポートセンターを活用するのもあります。

反対に、学類によっては進級の条件を満たせなかったりすると留年になるので注意してください。ちなみに、総合学域群は2年以内に移行できないと除籍になります…。

〈Column. 単位認定〉

単位は基本的にその科目の履修を通して得るものですが、授業を履修せずにも得られる場合があります。それを**単位認定**と言います。単位認定という制度を使うと他大学に在籍経験のある入学生や編入生は取得していた単位を筑波大学の卒業要件に充てられるような単位に換えてもらうことができます。

また総合学域群では英検1級またはTOEICのスコア800点以上の成績を有する学生のEnglish Presentation Skills 1,2の履修を免除しています。このように資格によっては何らかの科目の単位に換えることができます。

〈1-3. GPAについて〉

「1-1. 単位」の章で単位を称号と例えましたが、別に賞状や形に残るものと与えられる訳ではありません。しかし、単位にも金メダル、銀メダル、銅メダルといった具合にランクがあります。単位のランクは**評語**といってA+,A,B,C,D,P,Fのどれかで表され、履修が終了したのちに**TWINS**というサイトから確認できるようになります。また、評語は**評点**、**GP**というものと関係しています。表1が、対応表です。「参考」の点数が評点と思ってもらって構わないです。

表1 評語、評点、GPの対応表(履修要覧より)

評語	GP (評価点)	評価基準	参考 (100点満点での目安)
A+	4.3	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90点以上
A	4	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80~89点
B	3	到達目標を達成している	70~79点
C	2	到達目標を最低限達成している	60~69点
D	0	到達目標を達成していない	60点未満
P	-	定められた学修水準に到達している	-
F	-	定められた学修水準に到達していない	-



殆どの評語には**GP(Grade Point)**という数値が設定されており、一定期間に獲得したGPの総計を履修した単位数(P,F評価のものを除く)で割ることで、その期間のGPA(Grade Point Average)を算出できます。詳しい計算式は数式1の通りです。計算式を見て貰えばわかる通り、GPAは履修科目の成績(GP)の平均値を示すので、**平均して1単位あたりどれくらいの評価をもらっているのかが分かります**。TWINSでは1年生から累計したGPAも表示されますが、学期ごとのGPAも算出されています。計算式の対象となる単位を学期や年で変えることによって、その学生がその学期(年)に大体どれくらいの成績を収めたのかが一目で分かってしまうということです。恐ろしいです。

しかし、**GPAは年度末に総合学域群の学生(以下、総合生)が行う「移行」というものには直接的に関係しません**。移行の受入順位というものは評点(成績点)を基礎とするので、総合生はGPAよりも評点を重視しているのです。しかし、多かれ少なかれ移行後にGPAが必要になったり、注目したりする機会はあると思います。代表的なのは**理系の研究室配属**です。特定の研究室に定員以上の配属希望者が集まった場合、GPAを基準にして受入が行われるらしいです。筑波大学はどの学類も平均GPAは3.5程度なので、3.5が1つの目安になるでしょう。

移行に関わる話はこれから嫌というほど話されるので、ここで言っている内容が分からなくても不安に思わなくて大丈夫です。しかしその分、オリエンテーションとガイダンスの話をしっかり聞いてください。一応、一部分にはなりますがStep2やStep4で移行についての話もカバーしていますので、そちらも参考にしてください。

数式1 GPAの計算式(履修要覧より)

$$GPA = \frac{(A+)の単位数 \times 4.3 + Aの単位数 \times 4 + Bの単位数 \times 3 + Cの単位数 \times 2 + Dの単位数 \times 0}{GPA対象科目の総履修登録 単位数}$$

以上のことを簡単にまとめると、得単すれば基本的に**A+,A,B,C,という評語のどれかと60点以上の評点が同時に与えられます**。A+に近いほど、ランクが高いです。反対に、落単すれば、一般的には**Dという評語と60点未満の評点が同時に与えられます**。落単すると、科目によっては**再履修**といってもう一度、同じ科目を受講しなければならない可能性があります。面倒臭いので注意してください。基本的な評語と評点、得単、落単の関係性は以下の表2になります。

表2 評語、評点の対応表

評語	合格				不合格
	A+	A	B	C	D
評点	90点以上	80~89点	70~79点	60~69点	60点未満

他の評語にP/Fがありますが、これは表2で言うところの「合否」のみを示すものです。

- P(Pass) … 単位を得た(いわゆる「得単」)
- F(Fail) … 単位を落とした(いわゆる「落単」)

を意味するのみで、P,FにはGPや、対応する評点はありません。よって、P/F評価の科目は**GPAには含まれません**。加えて、移行は評点に基づいて行われるため、**評点の付けられないP/F評価の科目は移行に際しては使えないので注意しましょう**。

最後に、これは注意事項なのですが、評点や評語と言ったものは落単したとしても履修を取り消さない場合、履修終了後に必ず成績として共有されます。そして、**その成績は学期ごとにまとめられて、ご家族にも通知が行きます**。悪い成績を取り続けてしまうとご両親からお叱りの電話が来るかもしれませんので、サボり過ぎには気をつけてください。

ここまで、単位やGPA、評語、評点という基礎的な知識の説明をしてきました。しかし、以上の話は履修要覧に書いてある内容を多少噛み砕いただけに過ぎません。それほど、履修要覧は偉大です。ここでは話きれなかった内容も書かれているので、**ぜひご自身で履修要覧、特に「1.学修」のページ**を参照してください。恐らくこのパンフレットが届く時期にはまだ、履修要覧は配布されていないと思うのですが、履修要覧はインターネット上からも参照することができます。執筆段階では2026年度入学生用のものが共有されていないので、2025年度のものになってしまうのですが、是非一度覗いてみてください(<https://www.tsukuba.ac.jp/education/ug-courses-directory/index.html>)。

Step.2 【準備編】総合生の履修について

単位やGPAという履修を組むうえでの、基本的な知識を理解したら筑波大学の授業がどのような仕組みで行われているのか、総合生はどのように履修を組んでいけばいいのかについて、見ていきましょう！

<2-1. 筑波大学の授業システム>

筑波大学は、「**2学期制・6モジュール**」という学年暦を用いています。これは、1年を2学期(春・秋)に分け、それぞれの学期をさらに3つのモジュール(ひとまとまりの期間)に分け、各モジュールで異なる授業が開講されているということです。**5週間**を1モジュールという単位にまとめ、授業によっては期末(中間)テストや期末(中間)レポートが課されることとなります。また、筑波大学の授業は**1コマ75分**となっており、1日に**6時限**まであります。基本的には月曜日から金曜日までの5日間が授業日ですが、**授業によっては土曜日・日曜日に集中して行う授業もあります(集中授業といえます)**。

原則、**1単位は10コマの授業を通して取得するもの**です。1年生の間に履修する科目は、週に連続2コマ設置の1モジュールで完結する、2コマ/週×5週間型の授業か、週に1コマ設置の2モジュールで完結する、1コマ/週×10週間型の構成がほとんどです。しかし、演習や実習といった、講義よりも高度な内容の科目になると1単位ではなく2単位設けられる授業も現れます。2単位の科目だと授業の構成が、2コマ/週×10週間(2モジュール)だったり、集中授業だったりに変化します。

しかし、体育は例外です。1年生は総合学域群含め、どの学類も体育を履修しなければならないのですが、体育は1コマ/週×10週間で**0.5単位**という構成です。理不尽ですね…体育の履修については**記事『総合生のための履修登録ガイド』**で詳しく紹介されているのでそちらをご覧ください。

<2-2. 他大学との違い>

以上で大学、筑波大学で授業を受ける上での基礎的な知識は触れることができました。お疲れ様でした。しかし、筑波大学はカリキュラムという側面では結構、ユニークな仕組みを採用しています。皆さんが、他大学の高校同期と話す時に困らないよう、どこがズレているのかをここで紹介しようと思います。

まずは評語です。評語は大学ごとに異なっていることが多いです。「A+」は特に多様で、「秀」だったり、「S」だったり、「OA」と表されます。評語は噛み合っていなかったとしても比較的早い段階で「使われている評語が違う」と気付けます。

問題はGPAです。筑波大学はA+,A,B,C,Dにそれぞれ4,3,4,3,2,0というGPが振られています。4,3,2,1,0と振っている大学が多いです。そのため、筑波大学の学生は落単さえしなければGPAが他大学よりも高くなります。Step1で「筑波大学はどの学類も平均GPAは3.5程度」と記述しましたが、他大学のGPAで3.5も取ったら優等生も優等生です。他大学の友達に「GPA高くない!？」と言われたら、GPの仕組みから説明してあげましょう。

他の違いとしては、授業システムも挙げられます。実は2学期制・6モジュールという学年歴が用いられている大学は極めて少ないです。殆どの大学は2学期制のみの学年歴です。そのため、1つの科目を習得するためのコマ数は15コマと設定している大学が多いです。「1コマ90分の授業を15コマ受けて2単位を取得する」という具合です。1コマ90分のため、5限までの大学が多く、筑波大生は「6限までであるの!？」と驚かれがちです。そんな時は1コマ75分だと説明してあげましょう。

＜2-3. 移行制度と科目区分＞

総合生の履修作りは他学類の学生(以下、学類生)と比べて難しいです。なぜか。移行先の学類ごとに「この授業を修得していなければならない(応募要件)」、「この授業の成績は何倍にして移行点に算入します(重点科目)」などの仕組みがあり、これらを理解した上で履修登録しなければならないからです。加えて、必修という卒業するために取得しなければならない特定の科目の単位も踏まえなければなりません。ここでは履修登録をするうえで抑えておきたい、科目区分や移行にまつわる単語、概念について紹介しようと思います。

□移行にまつわる単語

表3 社会工学類の受け入れ順位決定方法

移行区分	応募要件	応募要件・重点科目の対象科目	単位	重み ^{※1}	重点科目 上限単位数	成績点算入 上限単位数	
社会工学類	右 10科目 から 2単位 まで	数学リテラシー1	1	1.0	2単位 まで	24	
		数学リテラシー2	1				
		微積分1	1				
		微積分2	1				
		微積分A(情報学群)	2				
		微積分3	1				
		線形代数1	1				3 単位 まで
		線形代数2	1				
		線形代数A(情報学群)	2				
		線形代数B	1				
	線形代数C	1					
	線形代数D	1					
	2単位 まで	経済学の数理	1				
		経済学の実証	1				
		会計と経営	1				
		社会と最適化	1				
都市計画入門		1					
都市数理		1					

※1 重み1.0の上限を超過した単位は重み0.1となります。

表3は、筑波大学のサイト内にある「学群 履修要覧(2025年度)」の「筑波大学総合学域群の学生の学類又は芸術専門学群への移行に関する実施要項(<https://www.tsukuba.ac.jp/education/ug-courses-directory/2025/pdf/6.pdf>)」から抜粋した、社会工学類の受入順位決定方法に関する表です。抜粋元には他学類の表も勿論、記載されていますので気になる学類があれば覗いてみてください。

さて、受入順位決定方法と言いますが、Step1でも申し上げた通り、「移行の受入順位というものは評点(成績点)を基礎と」します。つまりその学類に移行したい学生が定員以上だった場合、成績が良い順に移行させてもらえる、ということです。しかし、「成績が良い」と一言に言っても、各学類で求められる成績の良さは違います。受入順位決定方法の表からはそんな「どの科目を中心に頑張ってほしいか」という移行先の学類からのメッセージが読み取れます。

ここでは、あなたを社会工学類(以下、社工)に移行したい学生だと仮定しましょう。社工の応募要件には「右10科目から2単位」と書かれています。つまり、数学リテラシー1,2、微積分1,2,A,3、線形代数1,2,A,3という10の科目から合わせて2単位取得できれば移行のための最低条件は満たしたことになります。極端な話、あなた以外に社工への移行希望者がいなければ、どんな成績であれ、このうち2単位以上履修してさえいれば、あなたは社工に移行できます。反対に、2単位以上獲得できていない場合は、どれだけ他の科目の成績が良くても社工には移行させてもらえません。この「その学類に移行するための最低条件」が応募要件です。

しかし、最低条件を満たしても、社工に移行したい学生が定員以上だった場合は成績点を見て移行できない人を選ぶ必要があります。その成績点算出にまつわる概念が「重み」、「重点科目上限単位数」、「成績点算入上限単位数」です。

表の下線部※1に注目してください。「重み1.0の上限を超過した単位は重み0.1」になると書いてありますね。Step1で触れた通り、評点は100点満点で付けられます。100点満点の成績がどのように付けられるかは科目によって違うのですが、ひとまず高校までの100点満点のテストと同じようなもの考えてもらって構いません。社工の「応募要件・重点科目の対象科目」にある16科目は「重点科目上限単位数」である3単位まで、100点×重み1.0の100点満点で扱われます。しかし、それ以外の科目は※1の指示に従い、100点×重み0.1の10点満点に圧縮されてしまうのです。3単位分の重点科目がどれだけ移行を左右するかが分かりますね。無慈悲…。しかし、16科目分あるので、1単位で思った評点を取れなかったとしても変えが効きます。その科目は「それ以外の科目」として10点満点のところで貢献してもらいましょう。

ただ、「それ以外の科目」と言っても全ての授業が移行のための判断材料である成績点に算入される訳ではありません。「成績点算入上限単位数」に基づいて、社工の場合は24単位です。移行の成績点は評点が高い科目から優先的に重点科目や「それ以外の科目」として処理されていきます。これが総合生の、GPAよりも評点を重視している理由です。

以上より、社工では3単位分の100点満点×重み1.0の成績点と、24-3の21単位分の100点満点×重み0.1の成績点を合わせて510点満点で移行の受入順位が決定されるということです。成績点に算入されるのは24単位ですが、24単位分だけ頑張れば良い、というわけではありません。例えば24単位以外がDだと卒業要件を満たすのに苦労するので、そんな真似はやめてください。

これが成績点の仕組みですが、1月中旬に受けるTOEICの点数が移行に関わってくる学類もあります。例に漏れず、このような話も入学後のオリエンテーションやガイダンスでこれでもか、というくらい詳しく説明されますので、今分からなくても心配しないでください。それらに参加しても分からなかった場合はアカデミックサポートセンターが懇切丁寧にフォローしてくれますので安心してください。

□科目区分

○必修

必修は、必修科目の略語ですが、「卒業するために必ず単位を取得しなければならない科目」のことを指します。しかし、必修とされる科目の中には「全く同じ科目でなくてもいいから、この中から○単位、履修しておいてね」と指定されるものもあります。それが**選択必修**と呼ばれるものです。総合生が必ず取得せねばならない必修は「ファーストイヤーセミナー」「学問への誘い」と「第1外国語(英語)」「情報」「体育」にまつわる科目です。その中でも特に「体育」は選択必修の科目と言えるでしょう。「体育」は種目別に履修することになるのですが、その種目は30以上あります。しかし、その30以上ある種目から1単位習得すれば1年生の必修である「体育」はクリアしたことになります。「必修であっても選ぶ余地が与えられている」、これが選択必修です。

また、移行先によっては「初修外国語」や「数学」にまつわる科目も必修となります。例えば、初修外国語は人文・文化学群と社会・国際学群の全ての学類で必修になっています。その他の学類に移行する可能性もありますが、必修となる「初修外国語」の多くの授業が1年生向けの科目として開講されている都合上、第1類(文系)の殆どの学生が何かしらの「初修外国語」を履修することになります。必修はどういう形であっても(例えば単位認定とかで)、絶対に単位を取得しておかないと卒業させてもらえません。総合学域群にはありませんが、学類の卒業要件を見ると必修となる科目がしっかり明示されています。

卒業要件も履修要覧から参照できますので、やはり履修要覧を確認してみてください。

ちなみに必修は卒業に必須の科目ですが、移行の成績点に算入することはできません。例外は「初修外国語」や「体育」、微積分や線形代数といった「数学」にまつわる科目ぐらいです。こちらについては入学後に配られる**履修・移行ガイドブック**に記述があるので詳しくはそちらを参照してください。要注意なポイントです。

○専門導入科目

専門導入科目は概論よりも易しい科目で、移行の応募要件に採用されていることの多い科目です。全学類向けの科目であることが殆どなので、受講を希望する学生は必然的に多くなります。そのため、専門導入科目は受講できる人数に元から制限をかけており、履修希望者が制限を超えた場合は抽選を行うことになっています。抽選に漏れると、2次募集がない限り、その科目を履修することは不可能になります。しかし、総合生は専門導入科目が履修できないと移行の応募要件すら満たせない可能性があるため、その抽選で下駄を履かせてもらえます。仕組みは分かりませんが、**抽選に落ちにくくなる**のです。ちなみに筆者は1年生の時は履修を申請した専門導入科目の全てを受講できましたが、2年生では1つも専門導入科目を履修できていません。

しかし、そんな専門導入科目も**事前登録**を忘れていたら抽選に入れてもらえません。この事前登録というものは履修登録とは別で作業が必要になります。どちらとも**TWINS**というサイトで行うものですが、注意が必要です。この辺りの説明もオリエンテーションで行われます。別途、専門導入科目や事前登録の手順に関する冊子も貰えますので、そちらをよく参照してください。

また、本パンフレットには**記事『専門導入科目レビュー』**というものを掲載しており、その名の通り、専門導入科目の授業内容について執筆しています。興味があればそちらも覗いてみてください。

〈2-4. 履修登録〉

以上が履修を組む前に踏まえておいて欲しいあれこれでした。履修組みの具体的な決め方については**記事『総合生のための履修登録ガイド』**で触れられていますので、ここでは簡単に履修を組む際の注意事項や補足説明を行いたいと思います。もしかしたら**記事『総合生のための履修登録ガイド』**を見てからの方が分かりやすい内容もあるかもしれないのでそちらを先に読むことをおすすめします。

さて、「2-3. 移行制度と科目区分」で「総合生の履修作りは学類生と比べて難しい」と触れましたが、その理由を分かってもらえたでしょうか？受入順位に関する仕組みが学類により異なっており複雑なので、総合生の履修は年度末に行われる「移行」のためにあると考えて申し分ないです。

しかし、余裕があれば、応募要件となる専門導入科目だけでなく、**移行したい学類の必修科目を履修しましょう**。移行後の履修は移行した学類(以下、移行先)の卒業要件を満たすために組むので、**学類生が1年次で取得しているような授業の単位を、元総合生は2年次に回収しなければならない、という場合が発生し得ます**。かといって、応募要件・重点科目でない必修を焦って履修する必要はありません。文系学類のみの移行を目指している方は、応募要件・重点科目が履修をあまり圧迫しない一方、理系、特に理工学群への移行を目指している方は履修のほとんどが応募要件・重点科目で埋まってしまうことが往々にあります。その場合は広く移行先を考えていると「二兎を追う者は一兎をも得ず」状態になってしまうので、移行先の必修は、移行後の履修に強く影響する場合を除いて、後回しで良いでしょう。

また、注意して欲しいことの1つに「**得単した科目は再履修できない**」というものがあります。落単してしまった科目は後でもう1度履修することができますが、得単してしまうと、例えば思うような成績できなかったとしても、その科目は以降、再履修することは原則できません。

最後に、そんな難易度激ムズの履修組みをサポートしてくれる頼り先を紹介いたします。まずは**アカデミックサポートセンター**です。履修だけでなく、大学生活で何か分からないことがあっても親身に話を聞いてもらえます。他には入学後に、元総合生の先輩たちが新入生の履修組みを手伝ってくれる「履修相談会」なんてイベントもあります。本パンフレットで、こと履修を組むのに参考になる記事は『**総合生のための履修登録ガイド**』、『**履修モデル**』、『**履修のコツ**』、『**専門導入科目レビュー**』でしょうか。『**履修のコツ**』と『**専門導入科目レビュー**』についてはオンライン版のみの配信ですが、どれも参考になる情報が載っていると自負しています。是非、ご一読ください！

Step.3 【実践編】授業を受ける

履修を組むまでも高い壁を越えなきゃならないのに、総合生は希望の学類に移行するため、良い成績を修められるよう努力しなければなりません…。それだけでなく、時には様々な条件に応じて、科目間の勉強する優先順位を自分でつける戦略性も必要になります。これこそ、総合生が「受験生2年目」と揶揄される理由です。ここからは実際に授業へ挑み、高得点を取りに行くにあたって、授業で用いられる主なツールや成績評価方法について予習しておこうと思います。

＜3-1. TWINS＞

先ほどから何度か登場しているTWINSでは、主に事前登録や履修登録、成績参照、授業アンケートの記入、移行登録に使用されます。



ログインして画面右上のハンバーガーメニューを開くと、「履修」や「成績」などのアイコンが表示されます。画面をスクロールすると、事前登録の締切や成績参照開始日といった履修・成績関係日程のほか、帰省の時に使うであろう学割を発行できる証明書自動発行機の設置場所についての情報を見られます。

「履修」から「履修登録・登録状況照会」をクリックすると、画面中央に時間割が表示されます。その時間割の未登録と表示されているところをクリックして、科目番号を入力することで履修登録ができます。

事前登録が必要な授業は「履修」の「事前登録」のタブから、その授業が開講されるモジュールや曜日、時間を選択して登録します。

〈3-5. 授業の出席〉

Step1で単位とは「**その科目の学修の充分性を示す基準**」だと紹介しました。この、**基準を満たしているかどうかについては出席**といった受講態度や成績評価を通じて判断されます。しかし、高校までと違って、大学の授業は、何人も受講する授業や、動画を見て学修するオンデマンドの授業もあるため、誰が授業を受けていたか、を把握するのはかなり困難です。そのため、出席の確認方法や成績評価方法は授業ごとに様々です。詳しいことはその科目の初回授業にガイダンスとして説明されることが殆どなので、初回授業には出席するようにしましょう。特に注意して欲しいのは、**欠格要件**です。筑波大学では、その科目における全授業回数の1/3以上を欠席した学生は無条件で落単させる、という旨の学則があります。これを欠格要件と言うのです。例えば10コマ設けられている1単位の授業で4回以上欠席した場合は、どれだけ良いレポートを書いても、テストで良い点を取っても、落単です。注意してください。以降は、今までに受けた授業であった、出席の証明方法を紹介しようと思います。

□respon

先ほども紹介した、筑波大学で導入されている出席確認用のアプリです。PCの場合はmanabaから、スマホの場合はアプリからそれぞれアクセスすることができます。

(PCの場合)



manabaの赤丸で示した位置に、responのロゴが記載されています。そこからresponに入り、9桁の番号(授業によっては小課題)を提出してください。提出が完了すると、出席として扱われます。

(スマホの場合)

まず、サーバを登録する必要があります。画面の表示やrespon公式サイトの説明、大学の案内などを参考に、設定をしてください。この設定についてもオリエンテーション等で説明があると思います。なお、サーバにはatmnb.tsukuba.ac.jpを設定してください。そのあとはPCの場合と一緒に。

□manabaからの小課題の提出

manabaを通して、授業内で示された通りに課題を提出することで、出席となるケースです。**授業を聞いても、小課題を出し忘れると欠席扱いとなる**ことに注意が必要です。なお、この小課題の成績が、授業の成績に含まれる場合や、この小課題の成績のみで授業の成績を判定する場合もあるので、出席確認だから、と侮ってはいけません。

□出席票の提出

出席したことを示すために、学籍番号と名前、科目名などを記入する紙(出席票)があります。授業によってはその裏面を使って感想文といった小課題が課されます。授業開始時に配布され、小課題を記入、授業終了時に提出して、出席となります。

〈3-6. 成績評価方法〉

出席と同じように、成績の評価方法にもいくつかの種類があるのに加え、いくつかの成績評価方法を組み合わせて評価することがあります。

例：「授業の参加態度と授業内課題40%+期末レポート60%」、「オンライン小テスト70%+期末テスト30%」

といった具合です。成績評価方法についても、各科目の初回授業で触れられることが殆どですが、**シラバス**からも事前に確認することができます。シラバスにはその科目の成績評価方法の他にも、科目の開講日時や授業方法、履修条件が載っていて、その科目を履修するかどうかの判断材料になります。シラバスは「KdB」、「KdBもどき」、「twin;te」といったサイト、アプリから確認できます。後者2つは有志が制作したもので(めっちゃくちゃ凄い)オリエンテーションでは本格的に触れられないかもしれませんが、KdBについては触れられるはずですが、また後者2つについての簡単な説明は**記事『つくばに来るならおすすめのアプリ』**でも綴られていますので、そちらも参考にしてください。

以降は、主な成績評価方法について紹介していきます。

□出席する

授業によっては、出席することで成績が加算される、ありがたい授業があります。逆に言うと、**休めば休むほど成績は下がる**ということです。

ちなみに、筑波大学は出席ただけで成績を与えることを学則で禁じています。ただ、出席は小課題の提出を持ってして判定されることも多く、その場合は出席のみで点数を与えてる…とは言えなそうです。一方で、その意図をしっかり踏まえて、「小課題を書いてもらうけど、出席確認のみのためだから成績には含めないよ」という授業もあります。大学生活を続けていくと、出席で点数を貰える授業に感覚が麻痺してしまって、出席で点数がもらえない授業は欠格要件ギリギリまで休んでしまおうとする人がいます。そんな人にはならないでください…。

□授業を積極的な態度で受講する

授業内での関心・意欲や態度も、成績をつける際に加味される事項の1つとなります。特に、ディスカッションを中心とした授業では、挙手をして発言をした学生の名前を先生がメモしているケースがあります。侮らず、積極的な態度で授業に臨みましょう。

□授業内での小課題・オンラインで提出する小課題

授業内で提出する課題には、出席確認のためだけに用いられるものと、成績において考慮されるものの2つがあります。後者は成績に直結しますが、前者は成績点に関係しません。先ほども述べましたが、決して欠格要件ギリギリまで休める、なんて考えないでくださいね…。また、プレゼンで発表をする場合のパワーポイントの内容が成績に含まれる科目や、授業後に受講する小テストのみで成績が決する科目もあります。

□期末(中間)レポート

文系を中心とした多くの科目で採用されている方法です。レポートでは、内容や字数が充実しているか、ということに留まらず、内容の客観性、引用した論文の質、文体など、非常に様々な事項が採点の対象になります。

しかし、最初から評価のポイントを自力で抑えるのは至難の業なので、先輩からアドバイスを貰ったり、「国語」という文系は必修になる授業の中で学習したりして、徐々に身につけていきましょう。また、オンデマンド授業を中心に、最終レポートのみで評価が決する授業も少なくありません。

記事担当：金川 縁、嶋田 眞帆

編集担当：小野里 湊徠

□期末(中間)テスト

理系科目の多くで採用されている成績評価方法です。こちらレポートと同様、テストのみで成績が決する科目も多く、日々の復習と早めの対策が重要になってきます。

しかし、レポートの科目よりも、明確に採点の基準があるため、頑張りが正當に反映されやすいのも特徴です。一方で勉強しないと、情状酌量の余地が少ない分、無残な結果を招くので、頑張るしかありません。

なお、繰り返しになりますが、レポート・テストの成績がどんなに良くても、全授業回数の1/3以上を欠席した学生は、その授業の単位を取得できません。気をつけるようにしてください。また記事『履修のコツ』では総合生がどんな成績評価方法を好んでいるのかについてのアンケートを記載しています。そちらも参考にしてみてください。

おまけ



松美池
(「博士号」という名前の
スワンボートがいます)

移行について これだけは知っておいて欲しいこと

総合学域群では卒業要件が定義されておらず、1年間の学びの後、**卒業要件が定義されている学類等に改めて所属することになります**。これを「移行」と呼びます。在学年限は**2年**となっているため、2年以内に「移行」しないと除籍となります。ここでは、その「移行」のために理解しておいてほしいことについて、総合学域群で用いられている用語とともに紹介します。なお、本記事は**記事『総合学域群の歩き方』**と重複する部分もありますが、基本はそちらを読んでいることを前提としています。

移行に係る判定(本判定)

秋C終了後に行われる、移行する学類等を決定するための判定です。ウェブサイトやガイダンス等で説明はありますが、結局は移行してもよいと考える学類等を志望順に登録すればいいです。定員に対して移行を希望する学生が多い学類は成績順に受け入れられていきますが、戦略立てて希望の移行先を決める必要はありません。本判定に用いられているアルゴリズムによって**「最低点を上回っている、より志望度の高い学類に移行できなかった」ということは阻止される**仕組みになっています。つまり、移行を希望する学類の順位を上位下位に設定することのハンデは発生しません。成績点やTOEICの点数が移行の受入順位決定のための評価対象になるので、**総合生は成績点を上げること、移行したい学類を見極めることに注力すべき**です。ちなみに、本判定やこれから紹介する模擬判定で用いられているアルゴリズムがどのようなものかは「経済学の数理」という専門導入科目の授業で学べます。

また、これは注意点なのですが、本判定によって移行先が決まると辞退はできないので、**移行するつもりのない学類を本判定で登録することはやめましょう**。

模擬判定

春Cのモジュール後に行われる判定です。本判定とすることは一緒です。模擬判定に登録した学類内で判定基準日現在の自分の成績点を順位づけした時、その学類内における自分の立ち位置が分かります。移行に係る判定(本判定)に影響を及ぼすことはありません。しかし、**履修計画や移行先の検討のためになるので必ず登録をしましょう**。

記事担当：金川 縁
編集担当：鈴木 琴子

成績点

学類の受入順位を決めるためのもので、授業の評点が良いほど値が大きくなります。具体的な計算式は各学類によって変わりますが、特に理系学類の成績点の計算式には、「**重み**」という係数があり、**学類が指定する重点科目は他の科目の10倍または20倍になります**。標準履修年次に1を含むものは基本的に評点がつかますが、それ以外の授業では評点がかからない場合もあります。また、**合否(P/F評価)にて成績評価をだす授業は評点がつきません**。このような評点の付かない科目は受入順位決定のための計算式に算入することができません。

成績点に算入されない科目

必修と言われる共通科目のほとんどが成績点に算入されません。「必修といわれる共通科目」とは、具体的にはファーストイヤーセミナー、学問への誘い、体育、English Reading Skills 1,2、English Presentation Skills 1,2、情報リテラシー(講義)、情報リテラシー(演習)、データサイエンスを指していますが、**この中で成績点に算入できるのは体育のみ**です。

さいごに

今回、優先区分・全区分、秋CのTOEIC(学類によっては成績点に最高100点加算)、成績点に算入される最大単位数、履修上限と履修上限解放の話など多くのことを省いてしまいました。完全な内容は必ず**履修・移行ガイドブック**や入学してすぐのオリエンテーションで理解してください。

履修は**応募要件の対象授業科目が抜けないようにしながらも、重点科目をとり、さらに履修科目の上限以内に収まるよう**、計画を組む必要があります。少しでも迷ったら立ち止まらず**アカデミックサポートセンター**に相談に行きましょう。



総合生のための履修登録ガイド

どの単位を履修するかにあたって、様々な総合学域群生(以下、総合生)の体験を基に記述します。

ズバリ、「1.必修→2.行きたい学類の応募要件→3.行きたい学類の重点科目→4.楽単→5.興味のある授業」この順番が鉄板です！(ただ、卒業要件も確認した方が吉)

いきなりこんなこと言われてもわからないと思いますのでさらに具体的なやり方について解説していきます！

まず、それぞれの用語について必修・応募要件・重点科目の説明については記事『総合学域群の歩き方』をご覧ください。

ここから本格的に1つ1つ丁寧に解説していきます。

1.必修について

総合生には必修が計11単位分存在し、落としてしまった場合はもちろん2年次以降に再履修の必要があります。出席し、課題をちゃんと出せば基本取得できるので忘れずに行いましょう。必修は春学期には体育(0.5)、English Presentation Skills1(1)、English Reading Skills1(1)、情報リテラシー講義(1)、情報リテラシー演習(1)、ファーストイヤーセミナー(1)、学問への誘い(1)が、秋学期には体育(0.5)、English Presentation Skills2(1)、English Reading Skills2(1)、データサイエンス(2)があります。カッコ内は単位数を表します。また、**体育を除いて以上の科目は全て、移行点に参入不可能な科目**です。注意してください。

体育以外の春学期の必修についてはクラス別オリエンテーションにてプリントが配られます。

□体育について

体育は春学期と秋学期でそれぞれ「個人系・武道系」種目と「ボール系・アウトドア系・ゲーム系」種目のグループから一つずつ選択します。この時、種目の履修する順番は自由ですが、抽選のため第一希望の競技をできないことがあります。詳しくは、

「体育の履修方法(https://www.sapec.tsukuba.ac.jp/?page_id=2447)」をご覧ください。友達と一緒に取るのいいと思います。一緒になくても新しい友達を作る機会なので気を病まないでください。

ちなみに、筑波大学は必修として履修する体育の授業を1年次は「基礎体育」、2年次は「応用体育」、3年次は「発展体育」と定義づけています。実は必修になる体育は3年次まで用意されているのです。

しかし、学類によっていつまで体育を履修しなければいけないかは変わります。どの学類も2年次までは体育が必修となりますが、3年次まで体育が続く学類は日本語・日本文化学類、生物資源学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類です。

また**春学期の単位を得単できなかった場合、秋学期の授業には履修登録すらできません**。春も秋の単位も翌年度に持ち越しです。何と少しでも初修で得単したい必修です。巷では各種目を履修してみたの「レビュー」がまとめられたスプレッドシートが出回っているそうです。入手できた際には各授業の単位習得難易度の良い指標になってくれるでしょう。

□English Reading Skills(以下、ERS)、English Presentation Skills(以下、EPS)の再履修について

基本、**落とした単位はカリキュラムの都合上、翌年以降でしか再履修できないことが多い**ですが、ERS1,EPS1は夏季休暇に、ERS2,EPS2は春季休暇に**集中授業が開講**されています。しかし、履修できる人数には限りがあり、皆、必修科目を翌年に持ち越したくないため、その座席は争奪戦です。その争奪戦に勝つと、とても楽にERS,EPSの単位を習得できてしまうらしいです。修得難易度高めのERS,EPSに当たってしまった人で勇気がある人はこの争奪戦に賭けてみるのも戦略かもしれません。責任は取れませんが！

ただ、年内にERS,EPSを再履するという事は「年間履修上限単位数があるなかで、**移行点に参入できない科目をわざわざ皆より多く取る**」ということですから、楽単に充てられたはずの単位が1単位消失するようなものです。可能なら大人しく、初修で得単しちゃいましょう。ちなみに、翌年以降に再履修する場合は、クラスやTOEIC IPスコアに縛られず、好きな先生のERS,EPSを受講して構いません。

2.応募要件

総合学域群の一番の利点は、色々な学類に移行できる可能性を残しながら自分のやりたいことを模索できる点だと思います。そんな、「可能性」を残すのに大切なのが応募要件です。

一般的に**応募要件に必要な単位数は理系学類の方が多く、文系学類は少ない**です。理系学類に移行したい人は応募要件と重点科目の兼ね合いで工学系、情報系、医学系の3つのうち2つまたは1つに絞ることが多いです。また、生物系は応募要件が少ないため選択肢として残しやすいです。

入学後に配られるポートフォリオというバインダーの中にある、「履修・移行ガイドブック」を参考にすると良いです。

3. 重点科目

重点科目は「その学類に移行するための最低条件である」応募要件とは異なり、移行するために最も重要な科目のことです。

重点科目となる単位数も応募要件と同様に理系学類、特に工学系が多いです。理系の3系統からどのようなバランスで選ぶかが重要です。

こちら、入学後に配られるポートフォリオというバインダーの中にある、**履修・移行ガイドブック**を参考にすると良いです。

4. 楽単

記事『履修のコツ』を参考にすると良いです。

または先輩に聞きまくることは、楽単はもちろん、最新の過去問ももらえるチャンスなので積極的に関わるといいと思います。友達(先輩)は多いに越したことはないです。

また、友達とそれらの情報を共有した方が、友情的にもそうですが、何よりその友達から新たな情報を得られるかもなのでおすすめです！

5. 興味のある授業

いわゆる「趣味単位」というもの。自分のやりたいことを知れるよう、好きなものを取る。それだけです！入学後に配られる「履修要覧」を参考にすると良いです！（右のオレンジの冊子です。）

ちなみに、僕は趣味単位に加えて抽選に落ちた単位を教授に直談判して単位なしで受けたこともあります。あまりお勧めしません…。



□補足

- テストがいつあるかを確認した方が良いです。僕の場合、春Cにテストが10個あったせいで無事死亡しました。(この時さらに単位なしの授業も2コマ取っていたことも相まって)
- 自分の移行希望先の卒業要件も確認したほうがよいです。単位は取ったけれど卒業要件でないために移行後にいわゆる「死に単位」となることがあるからです。卒業要件は「履修要覧」に記載されています。また、医学系は例外で死に単位が大量発生します。(これはカリキュラム的にしょうがないです。)

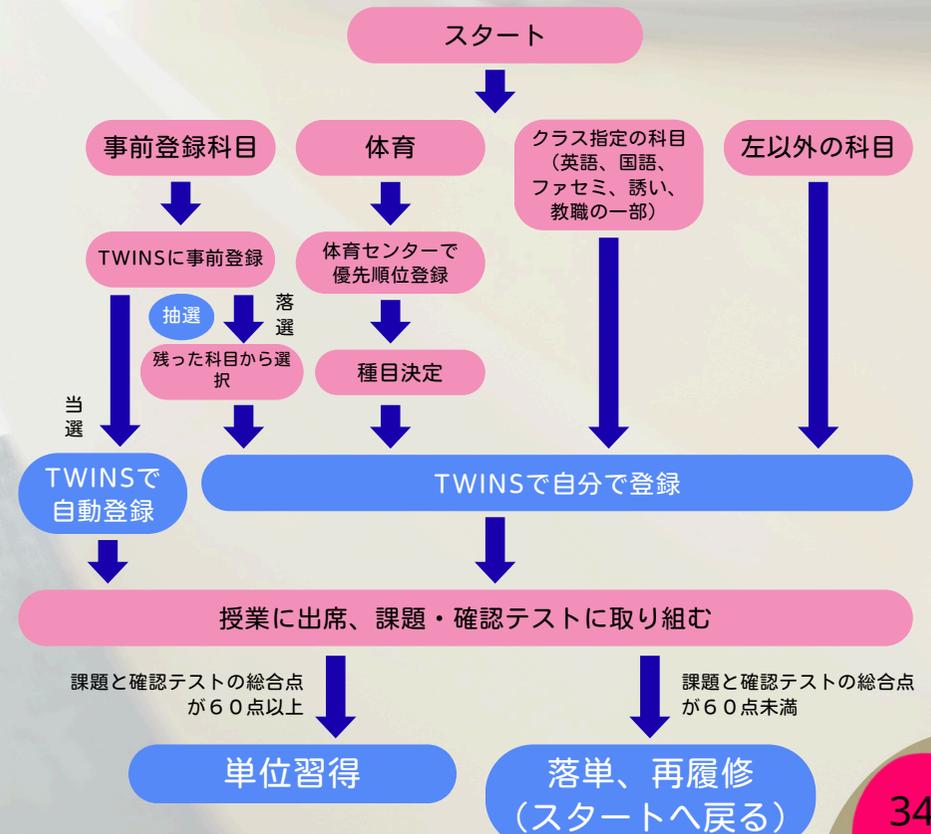
以上が履修登録の流れとなります。これはあくまで参考にしていただければと思います。決してこれ通りにしなくても良いです。アレンジしてみたり、自分なりの取り方をしてみたり自由です！ただ、この取り方だったら大失敗はしないかなと思います。

皆さんが良い履修を組み、来年度笑って移行できることを願っております！

また、最後に事前登録について説明しておきます。記事『総合学域群の歩き方』にて説明されております、専門導入科目は履修する際に事前登録と呼ばれる作業をすることが必要になります。具体的には、twinsの「履修>事前登録>事前登録」より登録できるようになっております(twinsの説明も記事『総合学域群の歩き方』を参考にしてください)。

詳しくは、ガイダンスにて説明がありますので安心してください。

履修登録フローチャート



教職について

総合学域群の学生は、ほかの学類の学生と同様に教員免許を卒業と同時に取得することが可能である。この項目では、教員免許取得のために教職科目を受講する際の手順と簡単な内容を説明する。

教職科目の取り方

① 入学して、クラスがわかったらすぐ開かれる**教職履修者向け説明会**に参加し、内容を確認。(参加しなくてもなんとかなる模様)

② 教職課程履修登録表の提出

担任の印鑑などが必要になるので余裕を持って動くが良い。また、この段階で教育実習をどこで受けるか(母校or母校以外)が仮決定される。

この際、「教職課程履修者の**履修カルテ**」を受け取る。

③ 該当する授業を受講し、単位を習得する。

該当する授業で1年次に受講するのは「教育の基礎的理解に関する科目=科目番号9から始まる、取得希望の教科によらず共通の科目と、「教科に関する専門的事項=専門導入科目等、取得希望の教科によって異なる科目」の2つのことである。また2年次以降では他の項目も加わるが、ここでは割愛する。

※基本的に教職は1年から受講するものである。しかし、2年から受講することも可能ではある。(推奨はされていない)

誰でも取れることの説明

筑波大学では教育学類ではない人も教職用の授業を受講することができる。教職用の授業は学類によるが卒業や年間の単位上限に含まれないため、受講したい授業と時間が被っていなければ受講が可能である。また、教職以外の授業とは原則被らないように開設されている。

授業紹介(履修カルテと異なる場合は、履修カルテに従うこと)

1年で履修する教職科目は以下である。(12科目12単位),(中高免許では1年次共通)。

- ① 教育史概論
- ② 教職論1
- ③ こころの発達
- ④ 教育の法と制度
- ⑤ 学校経営概説
- ⑥ 教育社会学概論
- ⑦ 教職論2

- ⑧ 現代教育と教育理念
 - ⑨ 学習の心理
 - ⑩ 日本国憲法(2単位、年履修上限45単位に含む)
 - ⑪ その他、取りたい免許に応じて専門科目、専門導入科目を受講
 - ⑫ 介護等体験の意義(小中学校のみ、春季集中)
- 注) ④、⑤、⑥からは2科目を選択すること

私の履修班では教職が1限に来ることが多かった。教職をとっていない人は春C秋Cモジュールに授業が少ないことが多いが、週4時間ほど教職は授業が置かれる。1年のうちに受ける教職科目は対面がほとんどなので移動も結構大変であった。単位だが基本的には出席してレポートを期限内に提出する、あるいは学期末の確認テストを受講していれば単位の取得は可能である。

教職を取ることのメリット

教員免許が取得できる。また、学校の経営や外国人学生の教育課題など教養となる授業が多い。2年次以降授業が少ない時期にも教職の授業は続くため、時間潰しになるような側面もあるらしい。

教職を取ることのデメリット

授業が増える。教職によって平均して週3から4限分の時間が取られる。学期末にはテストかレポートのどちらかは基本的にある。また、教職だけの科目ではなく取りたい科目によって異なる授業(理科系だと、力学、電磁気学、地球環境学など)の単位が必要になる。基本的には移行要件と被っていると思うので、履修を組む際の参考にする程度で大丈夫である。

Q&A

この項目では想定される質問に対し、アンケートの結果と筆者の意見を論じる。

Q1 教職を取ることで授業数は増えるが、どのように対処してきたか。

A1 大変じゃない授業を選ぶ。気合いなど。筆者としては教職で単位を取得することは難ではなく、教職科目は移行やGDPには響かないためプレッシャーを感じることは少なかった。

Q2 総合学域群に在籍するうちにはどの科目の教員免許に関する授業も受けられるが、移行後はどのようになるか。

A2 概ね移行後の学類で取れる教員免許は決まっている。ただし、教職課程として履修すべき科目を履修して要件を満たした場合には所属学群・学類以外の教科の取得は可能になる。「教職課程履修者の履修カルテ」をよく読むこと。

学類紹介

このページでは、移行先の学群および学類の特徴を掲載します。学群および学類としての特徴に加えて、一言二言のコメントを付けました。また、学類紹介とは別に追記として移行難易度にも触れていますので現実的な問題として読んでみてください。私自身、すべての学類を網羅しているわけではありませんが、できる限り調べましたので移行の参考になればと思います。体育専門学群や学際サイエンス・デザイン専門学群は移行対象外ですが、こんなに魅力的な学群を紹介しないのはもったいないので、これら2つの専門学群についても書かせていただきました。

人文・文化学群

人文学類

人文学類では、哲学、史学、考古学・民俗学、言語学を学ぶことができ、それぞれ4つの専攻に分かれます。それぞれの専攻の中でも様々な分野があるため、自分のやりたいことが見つかりやすいかもしれませんが、履修の関係で早めにやりたいことを見つけることをお勧めします。次に紹介する比較文化学類との違いとして**比較文化学類では言語学ができない、そして文学をやりたいなら比較文化学類**、ということがあります。また、この学類は基礎知識や考え方を重んじる「**ディシプリン型**」を前提にしていることも特徴的で、学際性を重んじる比較文化学類とは対照的です。

比較文化学類

比較文化学類では、文学から地域研究や思想・宗教と、とにかく**幅広く**探求ができる学類です。また、マンガ、映画といったポップカルチャーも研究対象となるような比較的自由的な学類でもあります。また、学際性という観点からもかなり自由で研究分野が多様なことも特徴的ですが、それに反して取らなければならない授業が多いことは留意しておきたいです。人文学類でも書きましたが「**言語学は人文学類、文学は比較文化学類**」、これは覚えたほうがよさそうですね。

日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類では、主に日本語、日本文学、そして日本語教育を中心に学ぶ学類です。学類の理念に**多文化共生**があるようで、日本人とは異なるバックグラウンドを持つ人たちと次世代を創り上げるというコンセプトを持っています。そのため、海外にルーツを持つ人や、異質な経歴をお持ちの方も比較的多くいらっしゃる印象です。教員、学生問わず人数の少ない学類であることも特徴的です。その結果、卒業研究の副担任を他学類に任せるのも往々にしてあるようで卒業研究は日本に関連しながらも幅広い研究が行われている印象があります。

私たち日本人のための日本語文法、表現、教育に関する授業も含まれているので、日本語が面白いという方には、絶好の学類だと思います。

社会・国際学群

社会学類

社会学類は**社会学、法学、政治学、経済学**の4つの専攻で構成され、私たちを取り囲む社会について包括的かつ専門的に学ぶことができます。一言に社会といっても、例えば犯罪、ジェンダーなどの社会問題や、都市、教育などの公共事業など掘れば掘るほど岐が出てくる入れ子のような構造をもっている、そんなものを対象にしている学類です。また、人文学類と同じように「**ディシプリン型**」の風潮が見受けられます。そのため、**最初は上記4分野全てを学ぶ必要があります**。いずれか1分野のみに関心がある場合は注意が必要です。

国際総合学類

国際総合学類では、名前から連想される通り国際社会を対象にした政治、法、経済などの**社会科学**、それに加え、**文化、社会開発、情報、環境**といった分野についても学ぶことができます。とにかく分野の幅が広いので自分のやりたい、専門的に学びたい分野が見つかるかもしれません。また、英語以外の外国語で入試を受けた人がいるので、グローバルフレンズをつくれるかも。さすが開かれた大学。ちなみに例年、この学類では留学に行く人が多いようです。しかし**英語が苦手な人でも大丈夫**です。この学類は語学力を伸ばすことに重きを置いているわけではなく、「**言語はあくまでもツール**」としています。

人間学群

教育学類

教育と聞くと先生をイメージしますが**実際はこの学類でできることは色々**です。学校をイメージしてみましょう。まずは学校以前にそもそも教育とはなにか、どうあるべきかを考えなければなりません。例えば、人間性、道徳性はどう育つのでしょうか。それを踏まえ、学校教育では何をすべきか、つまりは**設計、デザイン**です。それに現代は変化が絶えない。これに学校教育はどう進化すべきか。そのいい例が学校でのICT機器の導入ではないでしょうか。こういうことに教育学類は触れていきます。なお、先生を養成する学類というわけではないため**教師になりたいから教育学類と率直に決めるのはあまりお勧めできません**し、幼児教育や保育についてはあまり触れない点に注意しないといけませんね。教職については「教職」という記事で触れているので、そちらを参考にしてみてください。

心理学類

心理学類では、人間の心、行動にかかわるすべてを対象に知の探究ができる学類です。具体的には**生理、認知、学習、心身の発達**などが挙げられます。人間の心身に関わるすべてを扱うわけですので分野の幅はとても広いと思います。心理学といいながら主に人間について知るといなのがこの学類です。このように見ると、心理学類はどちらかという**と医学系に近い感じがします**。実際、脳科学などを含む**理系色の話も多い**ので、**理系科目にアレルギー反応があった人は注意が必要**かもしれません。

障害科学類

障害科学類では、障がいそのものを学ぶだけではなく、**皆が幸せに暮らせるような社会づくりを目指す**ことも理念にあるようです。心身に不自由を持つ人たちの環境づくり、支援、教育とアプローチは様々で、幼児から高齢者までも領域のうちに入っています。一言でいえば、福祉の発展を導くというもので、私はとても高尚に感じられます。**特別支援学校の教諭や社会福祉士になることも可能**である点もこの学類の特徴として挙げられます。また、学類(学科)の名に冠するほど障害科学に強い大学というのも全国に稀で、その意味で筑波大学は障害科学という分野の最高峰に位置する大学の1つである、という声も聞いたことがあります。また、この学類では**3つの履修モデルが用意されていますが、それによって忙しさや取得できる基礎免許の種類も決まってくる**そうなので、履修モデルを選ぶ際は注意が必要です。

生命環境学群

生物学類

生物学類では、簡単に言うと生物そのものについて学ぶ学類で、**進化学、生態学、遺伝学、植物生理学**など**様々な概論**があり、**個々の生命現象から生態系全体の話まで幅広い分野を扱います**。もちろん、生物そのものや生態系などのマクロな存在だけでなく、DNAといったミクロな存在までも生物学の範疇です。特に筑波大学はどちらかという**と微生物あたりが盛ん**なようです。動物や生物が好きな方はこの学類がピッタリかもしれませんね。

生物資源学類

生物学類とは違って、生物資源学類はどちらかといえば**農学部に近い学類**で、最終的な目標として食糧問題の解決や環境保全などがあり、**生物学的な視点で取り組む**ようです。**農林生物学、応用生命化学、環境工学、社会経済学**の4つの専門コースがあり、詳細は割愛しますがそれぞれ多種多様な特徴を持っていて、**生物関係だけでなく医療系の開発、土壌の研究など**にかく**幅が広い学類**です。補足ですが履修に関する条件を満たせば、**測量士補、自然再生士補**の切符が手に入ります。

地球学類

地球学類では、名前の通り地球に関する学問がメインで地学に近い学類です。ここで勘違いをしてほしくないことが地球学類では**宇宙、天体に関する勉強はできない**ことです。**宇宙について学びたい場合は物理学類の方が適している**でしょう。この学類の専攻は**地球進化学と地球環境学**に分かれており、前者は地球の歴史、痕跡をたどる分野、後者は気象などの自然現象を対象に知見を得る分野です。化石調査や地質調査などのフィールドワークができるのでアウトドアな方はとても楽しめる学類なのではないかと思います。もちろんインドア派も学類としては大歓迎なようですし、文系からの移行であってもまったく問題はないようです。地球学類で学べる文系的な分野には人文地理学が挙げられますが、人文学類では歴史地理学、比較文化学類では文化地理学、社会工学類では都市地理学といった具合に、**地理学は様々な学類で学べます**。もっと具体的に違いを知りたい場合は春期(夏期)ガイダンスやアカデミック・アドバイザーを利用するとよいでしょう。

理工学群

数学類

数学類では、名前の通り数学を探究する学類で、**代数学、解析学、幾何学、情報数学**で構成されています。物理や化学と違って、直に社会に役立つというような要素が少ないため、他の学類とは一味違った学類とも言えます。数学は自然科学の基盤を作る点から様々なところで実用化されているほか、ロマンがあるという点も忘れてはいけません。特別に数学をやりたい方はこの学類でロマンを追求してみてください。しかし、大学数学というものは高校数学とは別物です。おかげさ言うなら攻撃です。アルミホイールを被って覚悟を決めましょう(個人の感想です)。授業では理論と実践から数学の世界を学びます。**授業の特徴に、証明が多く扱われることが挙げられますが、テストでは高校数学の延長のような計算問題も多く出ます**。数学類のことをより詳しく知りたい場合は筑波大学数学類出身のYouTuberが数学科の実態を面白おかしく紹介しているので、そちら(<https://youtu.be/4djw8UsloIQ?si=-FG2tr2JtW97dlVQ>)を覗いてみてください。ちなみに文系科目はあまり卒業単位として認定されないようなので、文系科目も両立したいと思っている人は注意が必要です。

物理学類

物理学類では、主に物理全般を学び、探究することができる学類です。この学類では**素粒子をはじめとする、物性やプラズマ、宇宙工学などを扱い、理論と実験ともに研究が充実していることも特徴**です。高校までに学んできた物理はおおよそ古典物理学に該当しますが、これはナノレベルに対しては対応できない(ことがある)、いわば現代物理学の近似でしかないため、その誤差を埋めるべく現代物理学が生まれました。大学ではそんな未知の世界で探究できる素晴らしい場所です。物理学に興味がある方、ぜひこの学類に入ってみてはいかがでしょうか。

化学類

化学類では、自然科学の一つである化学を学ぶ学類です。**1年生では自然科学を全般的に学び、2年生以降は有機、無機、物理、生物、分析化学の5つの分野に分かれ、探究**します。高校までの学習ではどちらかという暗記に近いものだったと思います。しかし、化学反応を例に出すと、実はジグソーパズルのようなもので根本的な仕組みさえ分かれば自分の作りたい化学式を作れる、らしいです。大学ではこの根本的なロジックを学ぶので、理解できればとても楽しいですよ。大学で学ぶ化学はこのような特性を持つため、エネルギー問題の解決方法のような**物理寄りの化学**や、生体内のミクロな化学反応などの**生物寄りの化学**まで幅広い分野を扱っています。なんだったら**物理寄りの内容が多いという意見もあります**。ちなみに1年次はそこまでありませんが、2年時以降に増える実験(とそのレポート)は辛すぎることで有名です。

応用理工学類

応用理工学類は、**物質に焦点をあてた探究ができる学類**で、量子力学などの先端物理・化学を使って工学を学びます。**とにかく守備範囲が広い**ことが特徴です。物理、化学、そして実用的な数学を学び、3年生のときに4つの専攻に振り分けられ、より専門的なことを学びます。しかし、**専門性を求めるなら物理学類や数学類、化学類がおすすめ**という意見もありますし、**工学のようにひたすらものづくり、というわけでもない**ようです。かっこよくかつ端的に言えば、**工学による科学**、という言葉が当てはまるのではないのでしょうか。「深く」よりも「広く」**学びたい人におすすめの学類**と言えます。

工学システム学類

工学であれば、なんでもできる、そんなオールマイティな学類こそ工学システム学類です。ロボット、人工知能といった最前線を歩む分野はもちろん土木や材料なども網羅しており、**多くの知識を複合して、物理学を現実世界に応用する方法を学びます。**応用理工学類と被るところもありますが、**応用理工学類はミクロ的かつ先端物理・化学を扱う一方、工学システム学類はマクロ的かつ高校物理で学ぶ力学の内容をさらに深めていくという認識で問題ないと思います。**1、2年次はシステム系に比べて**数学物理の比重が大きく、比較的実験が多いのが特徴**です。一方で、近似計算などの厳密性の欠如を許せない人や量子力学がやりたい人にはおすすりできないという声が見られました。移行に際しては、**一級建築士の受験資格を得られることも重視する点**かもしれません。

社会工学類

社会工学類は、**経済学や建築学を学ぶことができる学類**です。土木系ではなく**工学的・科学的視点から都市計画を学びます。**社会経済システム、経営工学、都市計画の3つの専攻があり、**社会問題に対して数理的に挑もう**というような学類で、ほかの学類とは違ってかなり実践的な印象を抱かせます。また、理系っぽい名前の反面、**経済学のほか都市地理学のような文系寄りのこともできるのは特徴的ですが、社会学を学ぶ訳でもないですし、純粋に地理学をやりたい場合は地球学類をおすすめ**します。工学システム学類同様、**建築士の受験資格を得られることも特徴**です。

情報学群

情報科学類

情報科学類は**ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア**の3つの専攻で構成され、**情報という分野を包括的に学ぶような学類**です。主にコンピュータを使った情報の生成や処理、活用、分析といった**基礎的な知識、技術、プログラミングを学びますが、プログラミングに関してはどちらかという理論が強い**です。そのためwebサイトやゲームといったその先の**応用まではほとんど取り扱わない**ようです。施設も充実しているので、**不自由なく自分のやりたいことに没頭**できます。

情報メディア創成学類

情報メディア創成学類は、**情報技術に加え、認知科学を含むクリエイティブ寄りの講義がある**ことが特徴で、ゲームや音響、映像に関して興味がある人におすすめです。プログラミング言語も広く学びます。情報科学類とは違って、**どちらかという工学に近い雰囲気**で、「作る」が強い学類とも言えます。アプリ開発や映像作品の制作など**クリエイティブコンテンツを自主的に生み出す**ということでも活動的な学類なようです。しかし、**数学が必修になっているので、数学アレルギーを持っている人は注意**が必要です。

知識情報・図書館学類

知識情報・図書館学類では、図書館や本、インターネットのようなメディア媒体からプログラミングといった情報処理までも学べる範囲として持っており、**とにかく情報が含まればなんでも研究対象となる、そんな学類**です。情報に関する社会学を研究している先生もいらっしゃいます。情報という大きな括りでは他の情報学類と同じように見えますが、この学類は**文字列としての「情報」に焦点が当てられている**ようです。確かに他2つの学類に比べて文系色が強い学類ですが、**実態としては文理融合**で、1年次には情報系の授業が多く、**数学が必修科目**になっています(しかし、この学類開設の数学は他2つの学類より分かりやすいという話もあります)。主専攻として**知識科学、知識情報システム、情報資源経営**の3つがあり、それぞれ違った特徴を持っています。この学類では**司書資格を取得**できることに加えて、国内外の図書館で**インターンシップ**ができ、単位認定もされます。図書館といえば、筑波大学の図書館**とても素敵な場所**なので機会を見つけて散策してみてください。

医学群

医学類

医学類では、生化学をはじめとして免疫、病気といった科目を講義、実習を通じて6年間じっくりと学ぶところです。2年ほどは生物学的にミクロな視点で学習が続きますが、他生徒との話し合いがある授業も多く、実習は比較的早いうちから始まります。他学類とは違って、**医学類は医師国家資格を取得することを大きな目的としている点**、少しだけ特異的な学類です。例えば、1つの授業で20単位以上あるものが必修になっていることもあるため、**1つでも落とせば留年が確定する可能性大**です。学士取得後の道は様々で、研修病院での研修または大学院への進学を経て、**臨床医、研究者、または教育者を目指すことができます**。ちなみに制度上、第1類(文系)からの移行も可能ではありません。

看護学類

看護学類は名前の通り看護にまつわる学問を学ぶ学類です。看護学に関する実践的な知識と技能を身に付けることができ、主に**看護師国家試験に向けて学習を行います**。実習は2年次からなので、1年次はあまり忙しくありませんが、**カリキュラムが決まっているため他学類の授業はあまり履修できなくなります**。看護という名から学士取得後は看護師を連想するかもしれませんが、**保健師、養護教諭(いわゆる保健室の先生)になることもできます**。ただ、**保健師や養護教諭を目指すには学内の選抜を突破する必要があります**。また、大学院に進学する方もいますが、多くは看護師として病院で働く方が多い印象です。

医療科学類

医療科学類は、人体や病気といった医療にかかわる学問を学ぶ学類です。一見すると医学類と大差ないと感じますが、決定的に異なる点として**医学群でありながら卒業研究があることが挙げられます**。また、将来を考えた時、**医師というよりは研究がしたい人におすすめの学類**でもあります。3年時に国際医療科学専攻に進む道もあり、その場合は**医科学におけるグローバルな課題に取り組むことができます**。学士取得後は主に大学院への進学か就職の2つの選択肢があり、特に医療科学類では**臨床検査技師を取得できる**ので、この資格を活かした就職先に行くことが一般的です。しかし、医療にはあまり関わらない職に就く人もいます。必修の授業が多いため、1、2年次は忙しくなりがちです。

芸術専門学群

芸術専門学群は、**14の領域に分けられた芸術を学ぶ学群**です。14の領域について、名前からは想像しえなかったギャップを持っている領域もあるので、詳しく知りたい場合は是非、アカデミック・アドバイザー等を活用してください。**自分の進む領域は3年次に選びます**。この学群は演習だけでなく美術史といった座学も充実しているのが特徴で、**芸術に関する知識や技能がない人でも学べるのが魅力的**です。ただ**デッサンや実践的な美術を行ってこなかった人は課題に苦しんでいるという声も**。一方で、美術における技術分野と教育分野の両方が学べるため、教員志望の人にはとても良い環境です。ちなみに**建築士の資格は取る単位次第で取得可能ではありません**。

体育専門学群

体育専門学群は、名前の通り体育にまつわる学問を学ぶ学群です。ここでは**実技だけでなく、競技ごとの探求、コーチング、栄養学、医学といった座学にも触れる**ことができ、スポーツの要素があればなんでも学べるというある意味オールマイティな学群です。それに加え、この学群はトップアスリートが集まることも特徴として挙げられます。有名なOBとしてはサッカー選手の三笥選手が挙げられます。

学際サイエンス・デザイン専門学群

学際サイエンス・デザイン専門学群は、2024年にマレーシアのクアラルンプールに設置された、新しい学群です。この学群では様々な学群・学類の教員が授業を担当しており、複数分野を横断しながら課題解決型の学習を進めている印象があります。基本的に講義は英語で行われています。ちなみに、今のところは筑波キャンパスの学生はこの学群の講義を履修することはできません。

サークル活動

勉強と同じくらい、大学生活において大事なサークル活動。総合学域群の先輩たちに対して行ったアンケートの結果も参考に、種類・メリットetc…を説明します！

サークルの種類

筑波大学には『サークル』と呼ばれる団体がいくつかの種類に分かれて存在しています。以下、「一般学生団体」「課外活動団体」「学生組織」「その他」についてサークル名+「先輩の声」で紹介します。

〈一般学生団体〉

大学公認の学生団体が、一般学生団体と呼ばれています。例えば、総合学域群の先輩たちは以下のような団体に所属しています！

地理愛好会

「自分一人では絶対に行かなかった・行けなかったであろう場所に連れて行ってもらえるのが楽しい」

焼き物をつくる会

「陶芸できて、楽しいし気分転換になる」

弓道同好会春霞

「自分の予定に合わせてゆる〜く参加できる。友達がかなり増えました」

〈課外活動団体〉

大学公認&サークル連合会に加入している学生団体が、課外活動団体と呼ばれています。例えば、総合学域群の先輩たちは以下のような団体に所属しています！

筑波大学吹奏楽団

「最高に楽しく楽器ができます」

「大学から吹奏楽を始めたにも関わらず

周りの人がとても暖かく教えてくださったり接して下さったりして、非常に居心地のいいサークルです。練習は大変な時もありますが、その分成長できるし、周りの人とも仲良くなれるのでとても楽しいです！」

海洋研究会

「明るい人が多い。海の活動もあり、安全意識や団体意識が芽生えたと思う」

「かなり人数の多いサークルのため、いろんな学類の人がいて

様々な情報が得られる。活動内容も合宿でのダイビングや飲み会など、大学生のうちしかできない楽しいものが多い！」

現代視覚文化研究会 (通称 げんしけん)

「生産者系オタクは絶対入った方がいい。人と関わるのが苦手なオタクくんでも仲間ができる。いろんな班があるので、好きな班に入ればいいし、活動自体はゆるいものが多いので、とりあえず班に入って自分のアイデンティティ形成に使っとくのも良い」

医学ゴルフ部

「医学系のサークルはその学類ごとの雰囲気というのはある気がする。ハインサエティを体験したい人には「医学系」はお勧め」

医学水泳部

「大学から泳いでみたいという人から上級者まで水泳が好きな人が集まる団体」

水泳部

「元々選手をやっていた大学からマネージャーをはじめました。筑波はスポーツ強豪だからスポーツ観るの好きな人は体育会系の部活に入るのをおすすめします！インカレについて行ったり、他の大学の人とも関わる機会があるのでとても良い経験になります」

競技ダンスサークル舞研

「合宿や同期との関係など、大学生ならではの体験をたくさんできるので入ってよかったと思う。また大学で新しいことを始め、熱中できるものを見つけられたので入ってよかった」

Lilac -謎解き制作委員会-

「大学外部の方とのやり取りやイベント開催を通じて、スキルアップできた気がします」

〈学生組織〉

大学公式のイベントを開催したり学生の代表として活動したりする団体は「学生組織」と呼ばれます。ここでは内部に複数の部署があり同じ組織でも異なる活動や雰囲気を楽しめます。各委員会を委員会名+活動内容+先輩の声で紹介します。

学園祭実行委員会

毎年11月に行われる雙峰祭の準備や実施に関わる業務を行っています。

「週1回の活動なので学業との両立がしやすい。仕事量の調節ができるので仕事が欲しい人は仕事もバリバリできる」

「忙しくなる期間もあるが、大切な友人ができやすいことや大きなことを成し遂げる達成感は言葉にならないと思います。やりがいに溢れています」

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（通称：全代会）
全学生の代表として、学生のより良い大学生活のために活動しています。
「大学の裏事情に詳しくなれるかも？社会人スキルが身に付きます！」

スポーツ・デー学生委員会
春と秋の年2回開催されるスポーツ・デーを運営しています。
「1回の活動時間も短く、先輩たちが優しく接してくれます」

新生歓迎委員会
毎年4～5月に行われる新生歓迎祭や新生歓迎期間を運営しています。
「新生と真っ先に触れあいサポートすることができる喜びはこの上ないです」

〈その他〉

大学公認の団体や組織の他にも、学生がSNS等を活用して自主的に集まり、活動しているサークルもあります。例えば、総合学域群の先輩は以下のような団体に所属しています！

筑波大学東方サークル 地方学園都市ツクテリア
「東方Projectが好きだったので入りました。これまでほとんど東方について深い話のできる場所はなかったので初めてこんなに熱意を持った人たちと直接話すことができ、とても嬉しかったです」

〈サークルに入るメリット〉

どのサークルに所属しているかに関わらず、サークルに入ることは様々なメリットが存在します！先輩たちへのアンケートをもとにご紹介します。

- ・先輩との繋がり。特別な経験
- ・活動により大学生活が充実する
- ・活動の中で学外の社会人と関わる機会があり、視野が広がった
- ・特に総合生はほかの学類に比べたら友達ができにくい気がするので部活やサークルに入ることは大事だと思います
- ・めちゃくちゃ楽しい、勉強の息抜きになる、ストレス発散、恋愛できる
- ・自己成長を求めている人が多く、その人たちと関わることで刺激になる
- ・自分の好きなもの・やりたいことを通して友人ができる
- ・大学から始めたスポーツにドハマりできる

- ・運動する機会を強制的につくることができる
- ・縦のつながりを構築することができ、大学への解像度も上がるため、意義深い
- ・大抵の先輩が後輩に優しいです。先輩が奢ってくれることが多いです
- ・他学類のお友達や先輩と関わりができるので移行したい学類の話を詳しく聞ける
- ・総合生は、同じ人と一緒に授業を受けることが少ないため、サークルに入ることは同学年の友達をつくるよい機会だった
- ・青春を共にする仲間と大学生活における居場所ができた

〈大学行事〉

上記したようなサークルが活躍する場として、様々な大学行事があります。



編集担当の一言

色々なサークルに入りたいと思う人も多いでしょう。
ですがサークルは9時前後と遅くに終わるため、課題、バイト、自由時間、サークルへ向き合う時間を考えると兼サーは3つが限界だと思います。ここに載せられなかったサークルについても、新歓Webや公式サイトでチェックしてね！

履修モデル

ここでは、私の総合学域群第3類時代の履修をお見せしながら、どのように時間割を組んでいくか、お勧めの組み方などを説明していきます。私は生物系と文系に広く興味があったため、だいぶ色々な授業を取っている方だったと思います。

春学期は生物・資源に加えて比文や日日に興味があったので、理系全般に必要な数学リテラシー1・2や化学、各学類の専門導入科目を履修しました。文系学類は多くで第二外国語が必修なので、基礎ドイツ語も履修しています。春Bから心待ちにしていた生物・資源の授業が始まりました。この2学類の専門導入科目は、私はすべて履修しました。最も興味がある、移行先としての有力な候補だったためです。授業を受けないとわからない学類の雰囲気(教員や学生、授業スタイルなど)も多いので、**移行先として重要視している学類の専門導入科目はまず確実に履修できるよう組むといいでしょう。**

秋学期は、生物か資源かを決めるためにその2学類の授業を取りつつ、化学や数学を並行して履修しました。春学期の時点で、自分が大学でやりたいことは文系学類とはまたちょっと違うな、と思ったため文系学類の授業は秋学期は取っていません。このような方針転換を可能にするためにも、なるべく春学期に幅広い学類の授業を取っておくと秋学期に方針を定めやすくなるかなと思います。

また通年で教職を履修していたので、そのための授業も含まれています。集中授業を除いて8単位ほど余分にとっていることになります。

実際どうだった？

この履修で1年過ごしてみても思ったことです。

□ 空きコマはあったっていい！

空きコマがあるとその時間暇で嫌だ、みたいなことも言われたりしますが、個人的には空きコマがあるとその時間で仮眠したり、課題をやったりできるので嬉しかったです。1コマ分なら上記のように過ごせましたし、秋ABの水曜日みたいに長い空きコマの時は一旦家に帰って洗濯とかをしていました。

□ 対面連続はきつい！

春Bの月曜日は5コマ連続の対面授業で、しかも教室の場所がそれぞれ遠く、休み時間に大移動をしていました。これがきつかった！対面とオンデマンドをうまく混ぜられるといいです(が、必修とかでなかなかそうはいかないんですよね)。ちなみに私は2年次で6コマ連続対面授業を送っていました…。非常にきついです。

□ (理系への移行希望なら)数学や化学は履修しておこう！

理系への移行を少しでも考えているなら、専門導入科目の化学1・2・3や、数学リテラシー1・2をはじめ微積分1・2・3/微積分A・線形代数1・2・3/線形代数Aはすべてとはいかずともある程度履修しておくとういいます。これらは多くの理系学類で重点科目に設定されているので、習得することで多くの学類への移行可能性が生じます。また、専門導入科目レベルの化学や数学は当然わかるものだと思われて2年次の授業は行われていくので、移行後に置いて行かれないためにも、これらは履修して頑張って勉強しておく必要があると思います。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri		Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	人間学Ⅰ	フィールド文化領域比較文化研究		基礎ドイツ語BⅠ	情報リテラシー(講義)	1	化学3	系統分類・進化学概論	教職論Ⅱ		データサイエンス
2	人間学Ⅰ	フィールド文化領域比較文化研究		English Presentation SkillsⅠ	情報リテラシー(講義)	2	生物資源と環境	系統分類・進化学概論		English Presentation SkillsⅡ	データサイエンス
3	国語Ⅰ	基礎体育アスレティックトレーニング(春)		化学概論	数学リテラシー1	3		基礎体育テニス(秋)		生態学概論	微積分A
4	教育史概論	ファーストイヤーセミナー		化学概論		4	教育の法と制度	学校経営概説		生態学概論	微積分A
5	English Reading SkillsⅠ	数学リテラシー1	学問への誘い			5	English Reading SkillsⅡ		生物資源の開発・生産と持続利用	生物資源としての遺伝子とゲノム	
6	基礎ドイツ語AⅠ		学問への誘い			6				地球進化学2	

【春A】

【秋A】

記事担当：望月 温人
編集担当：花井 深雪

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri		Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	
【春B】	1	化学2	共生のための人類学		基礎ドイツ語 B I	情報リテラシー(演習)	1	化学3	動物生理学概論	教職論II		データサイエンス
	2	生物資源学 にみる食品 科学・技術 の最前線	地球 環境学1		English Presenta- tion Skills I	情報 リテラシー(演習)	2	生物資源 と環境	動物 生理学 概論		English Presenta- tion Skills II	データサイエンス
	3	国語 I	基礎体育 アスレティ ックトレーニング(春)		日本・アジア 領域比較 文化研究	共生のための 歴史学	3		基礎体育 テニス (秋)		植物 生理学 概論	微分積分 A
	4	教育史 概論	ファース トイヤー セミナー		地球 進化学1		4	教育の法 と制度	学校経営 概説		植物 生理学 概論	微分積分 A
	5	English Reading Skills I	数学 リテラシ ー2	力学1	分子細胞 生物学 概論		5	English Reading Skills II		生物資源の 開発・生産 と持続利用	生物資源と しての遺伝 子とゲノム	
	6	基礎 ドイツ語 A I	数学 リテラシ ー2	力学1	分子細胞 生物学 概論		6				地球 進化学2	
【春C】	1	化学2	共生のための人類学	教職論 I	基礎ドイツ語 B I	こころの発達	1		化学1	現代教育と教育理念		学習の心理
	2	生物資源学 にみる食品 科学・技術 の最前線	地球 環境学1	教職論 I	English Presenta- tion Skills I	こころの発達	2		化学1	現代教育と教育理念	English Presenta- tion Skills II	学習の心理
	3				日本・アジア 領域比較 文化研究	共生のための 歴史学	3					
	4				地球 進化学1		4					
	5	English Reading Skills I	遺伝学 概論				5	English Reading Skills I				
	6	基礎 ドイツ語 A I	遺伝学 概論				6					
						【秋B】						
						【秋C】						

生活編

- 01. 初めてのひとりぐらし 57
- 02. 学生宿舎見聞録 67
- 03. 自宅通学について 78
- 04. つくばの周辺施設 81
- 05. 筑波大生のアルバイト 87
- 06. 筑波大生の自転車事情 91

大学編

生活編



筑波大学
総合学域群
School of
Comprehensive
Studies
University of Tsukuba

初めてのひとりぐらし

はじめに

総合学域群新1年生の皆さま、ご入学おめでとうございます！

筑波大学には、1人暮らしをしている学生が多いです。そこで、本記事では、**つくばで1人暮らしをする際に知っておきたいことやコツなどをお伝えします。**

筑波大学の学生が1人暮らしをする場合、学生宿舎やアパートに住むことになります。学生宿舎に関する記事も本パンフレットの67ページに掲載されていますので、学生宿舎への入居を検討している方はぜひ参考にしてください。また、自宅通学に関する記事も78ページに掲載されています。

部屋の選び方

アパートの選び方は、ネットで調べた方がより良い情報が出てくると思いますが、ここでも簡単にお伝えします。

大学周辺のアパートの家賃は2.5万円～7万円ほどで、平均は**4万円前後**だと思われます。部屋の設備や立地、築年数などにより変動しますので、ぜひ自分に合った部屋を探しましょう。

〈各エリアの特徴〉

1人暮らしをしている筑波大生は、主に**天久保**、**春日**、**桜**といったエリアに住んでいる人が多いです。以下に各エリアの特徴を簡単にまとめました。

・天久保

大学に近い。飲食店が多く、にぎわっている。学生のたまり場になりやすい。

・春日

主に情報学群志望の総合生が多い。つくば駅やイーアス(研究学園駅の近くにあるショッピングセンター)に近い。春日エリアに近い。

・桜

スーパーが近く、自炊を頑張りたい人におすすめ。家族連れも多いため、治安が比較的良い。第一・第二・第三エリアに近いが大通りを渡る必要がある。

なお筆者(総合1類)の周りには、**天久保**、**春日**に住んでいる人が多い印象です。

〈設備について〉

部屋の設備については本当に個人のこだわりによるものなので、ここでは参考までに筆者が大学生を送るにあたって特に大切だと感じたものを述べていきます。

1つ目は、**インターネット環境**です。新型コロナウイルスによる影響が落ち着いたとはいえ、高校に比べて大学ではオンライン授業を受ける機会が多いです。最低限、インターネット環境が整っている部屋を選ぶと良いでしょう。しかし、「インターネット使用料無料」や「インターネット完備」などと書かれている物件であっても、**インターネットの質が悪いこともありますので、不動産屋にしっかり確認することをおすすめします**(かく言う筆者はインターネットがない物件を選び、高速のインターネットを個人で契約しています。この方法でも快適に過ごせています)。

2つ目は、**防音**です。壁の薄さはオンライン授業を受ける際に不安要素となるため、注意が必要です。さらに、大学生になれば、友だちを家に呼んで遊ぶ機会もあることでしょう。その際にも防音設備がしっかりしていれば、安心です。また、隣人の生活音がうるさく、引っ越しをしたという人の話を筆者も聞いたことがあるので、**できるだけ内見をし**、壁が薄くないかを見ておくと思いいます。

3つ目は、**収納**です。授業のために教科書を買う他、実家にある自分の部屋とは違い、掃除用具や食器類、服飾品、生活雑貨などを全て収納する必要があります。収納がしっかりしていれば、物が多少増えても安心です。そもそも物を増やしすぎないことが重要でもあるのですが、筆者は収納スペースが広いことに助かっています。

アパートを選ぶ際に注意すべきことはこのくらいだと思います。**もっと知りたい人はインターネットにたくさん情報が載っていると思うので、調べてみてください！**

〈今、物件を探している人へ〉

さて、ここまでアパートの選び方を述べてきましたが、正直、**合格後から物件を探し始めるのは、なかなか難しいです**。自分のこだわり合う部屋が見つからない…！なんて、悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。



そんな時には**学生宿舎やグローバルヴィレッジへの入居**もぜひ検討してみてください。1人暮らしは慣れるまで孤独です。しかし、学生宿舎やグローバルヴィレッジであれば、すぐ近くに同じような状況の学生がいるため、アパートに暮らすよりも安心できる点はあると思います。それに、「住めば都」とはよく言うので、一旦学生宿舎やグローバルヴィレッジに入居し、**夏にアパート探しをして引っ越ししてしまうのも1つの手**です。筆者の体感ですが、8月や夏休みに大学院生が退去する目途が立つので、物件数が増加します。夏であれば、次年度の入学生もまだ予約ができないため、良い条件の物件も探しやすいと思われる**(12月以降になってしまうと、推薦入試の合格者が物件探しを始めるため、それよりも早い時期の物件探しをおすすめします)**。アパート探しに困っている新1年生の皆さんは、ぜひ学生宿舎やグローバルヴィレッジへの入居を検討してみてください。

1人暮らしの「これ、知りたい！」

初めての1人暮らし、不安ですよね。きっと様々な疑問があると思います。ここでは、総合学域群の先輩が感じた疑問にお答えしていきます！新1年生の皆さんが抱えている疑問も解決できること間違いなし！

〈必要な手続きについて〉

1人暮らしを始めるにあたって一番煩雑で大変なのが手続き関係…！筆者も困りました。

まず、**住民票**についてです。住民票は基本的には居住地に移すものですので、**つくば市に移す必要**があります。しかし、成人式が20歳の時に行われる場合、20歳になった時に**住民票がある地方公共団体から招待される仕組み**がほとんどであるため、大多数は地元に残したままとか。(筆者は一応つくばへ移しました。筆者の地元では、申請すれば、住民票が地元になくても地元の成人式に参加できる制度があります。地方公共団体によると思うので、一度調べてみることをおすすめします。)住民票をつくば市へ移さないデメリットとしては、つくば市の選挙(茨城県知事選、つくば市長選、衆議院や参議院の茨城県やつくば市の候補者など)には投票できないことが挙げられます。(ただし、「不在者投票」という制度を使えば、地元の知事選や市長選、衆議院・参議院の際に地元の候補者へ、つくば市の投票所で投票することができます。詳しい手続き方法は割愛しますが、気になった方は、各地方公共団体のホームページなどで確認してください。)



また、運転免許証に関する手続きは、住民票がある都道府県の免許センターでないと行うことができません。マイナンバーカードの更新手続きも同様に、住民票がある地方公共団体でしか行うことができません。詳しい移し方は各地方公共団体のホームページ等に掲載されているので、調べていただければと思います。以上の情報を踏まえて住民票を移すかどうか決めてほしいです。

次に、**アパートの手続き**についてです。不動産屋によるかもしれないため、参考までに筆者の入居までの流れを説明します。筆者は受験する前から両親に協力してもらってアパート探しを始め、合格後に不動産屋に電話をして希望する物件を押さえてもらい、後日郵送で届いた契約書類に記入し、郵送で送り返しました。即入居可の部屋ではなかったため、入居可能になったら引っ越し日に不動産屋に鍵を受け取りに行き、説明を受けて入居しました。こんな感じです！

〈アパート・住む場所の選び方について〉

「部屋の選び方」で紹介しましたので、ぜひ参考にしてください！

〈よく使うスーパーやおすすめの飲食店について〉

つくばに引っ越してきたはいいものの、周辺施設について何も分からなくて途方に暮れた…という方も多かったようです。スーパーは**平砂のカスミ**や**桜のカスミ**、「**トライアル**」、「**ロピア**」などを使う人が多いように感じます。飲食店は安くて大盛のところに行く人が多いですが、ここで書くと長くなるので割愛します。スーパーや飲食店を含め、周辺施設については81ページで紹介していますので、そちらを参考にしてください！

〈家具をどこでそろえたか〉

つくばでそろえるなら、つくば駅の**トナリエ**にある「**DECO HOME**」や「**ケーズデンキ**」、研究学園駅方面の「**ニトリ**」、イーアスの「**LAKOLE**」や「**Franc franc**」が良いです。「**コメリ**」でそろえた、という人もいました。しかし、いずれもそれほど近くないので、筆者は、ほとんどの家具や家電を地元で買い**配送サービス**を使った他、**ネットショッピング**を使いました。

〈病院について〉

1人暮らしで体調を崩した時に病院の場所が分からないと、とても不安になります。私も最初はどこに行けば良いか分かりませんでした…。ここでは大学に近い病院をいくつか紹介します。具体的な場所については、3,4ページに地図が掲載されているので、併せて確認してください！

・筑波大学附属病院

「エキスポセンター」の近くにあります。内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、眼科など、幅広く対応している総合病院です。しかし、紹介状なしでいきなり受診しようとする、「選定療養費」という料金が診察料とは別にかかってしまいます(救急車で搬送された場合はかかりません)。そのため、軽い症状なら、選定療養費のかからない近所のクリニックにかかることをおすすめします。

・筑波メディカルセンター病院

筑波大学附属病院の近くにあります。こちらも内科、外科、婦人科、歯科口腔外科などに対応している総合病院です。筑波大学附属病院同様、紹介状なしの受診であれば選定療養費が別途かかります。

・保健管理センター

大学内のCEGLOC棟(英語や外国語を学ぶ棟)の向かいにある建物です。入学してすぐに健康診断で使います。平日は内科、整形外科、精神科の診療を受けることができ、薬ももらえます。有料ですが、緊急の場合はアクセスが良いため助かるでしょう。また、ワクチン接種も行なっていることがあるので、接種を受けたい場合はホームページで確認してください。

・つくばシティア内科クリニック

つくば市立図書館の近くです。大学内から駅へまっすぐ向かう道沿いにあるため、場所は分かりやすいです。つくばシティアビルというところに入っている小さい病院ですが、このビルには内科以外にも薬局や歯科、整形外科、皮膚科がまとまっています。待ち時間も比較的少ないようです。

・ホワイトエッセンス デンタルオフィス ゴリ
駅前のトナリエに入っています。若めの先生が多いようです。**キャッシュレス決済のみの対応**ですので、診察してもらう際にはご注意ください…。

・つくば桜メンタルクリニック

桜のカスミの近くにありますが、**予約必須**ですが、結構先まで埋まっている印象です…。

・その他にも個人経営のクリニックがいくつか点在しています(大学に比較的近いものもあります)。用途に合わせて選んでください！

※病院は小さなクリニックを含め、ほとんどのものが大学にはそれほど近くない印象です。住んでいる場所にもよりますが、徒歩よりも自転車でいった方が良い距離ですので、体調が悪い時には大変かもしれません……。

自炊について

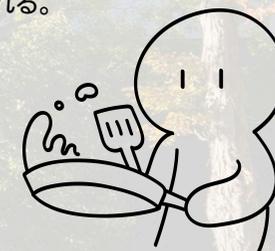
1人暮らしを始めるにあたり、自炊を頑張ろう！と意気込んでいる人もいます。筆者は自炊をしている方だと思うので、**自炊のメリットやデメリット**、また、**筆者なりの自炊の工夫**をお伝えします！

〈自炊のメリット〉

自炊のメリットとしては、まず**食費を抑えることができる**という点が挙げられると思います。毎食外食やコンビニご飯となると、やはり多少値が張ります…。自炊をすれば、工夫次第で材料費を安くできます。また、自炊をすることで**「1人暮らしをしている！」という実感が湧く**こともメリットの一つでしょう。自分で作った料理を見て達成感を感じ、QOLが上がります！

自炊が得意な筆者の友人達からは次のような意見がありました！

- ・安上り(但し、こだわると高くつく…)。
- ・自分の好きなものを好きな時に食べられる。
- ・料理スキルが上がる！
- ・人から褒められる！



〈自炊のデメリット〉

自炊のデメリットと言えば、やはり**後片付けが大変**なことが一番に挙げられるでしょう。作ったはいいいけど、洗い物が面倒だ…という経験は筆者もあります。洗い物を放置した結果、後日自炊をする気力がない、ということにもなりかねません…。また、外食や即席麺などの楽しさを知ってしまうと、「料理を作る」という行為が**億劫**になってくることもあるかもしれません。

またまた筆者の友人達からは、次のような意見がありました！

- 後片付けがダルい(特に宿舎！キッチンから部屋まで調理道具を運ばなきゃならん！)。
- 安く済ませようとするとう栄養バランスが偏りがち。
- いつも一人でご飯食べてると、だんだん寂しくなってくる。
- レポート・テスト期間とか、自炊までしているとキャパオーバーになる。

〈自炊のコツ〉

ここまで、自炊のメリット・デメリットを述べてきましたが、初めての一人暮らしで、自炊ができるか不安な人もいることでしょう。そんなあなたに、筆者が自炊をするにあたって工夫していることをお伝えします！

まず、筆者が心がけていることは、**疲れている時には無理をしない**こと。当たり前のことのように見えますが、最初のうちは張り切ってしまうこともあります。体調を崩しては、元も子もないため、**適度に外食などを活用**しましょう！

次に、**暇な時にまとめて作ってしまう**こと。6限まで多くの授業が入っている日や、バイト終わりには疲れてしまったり、時間がなかつたりする日もあるでしょう。そのため、授業が少なめの日や土日など、**空いている時間に作り置きして冷凍**しておけば、フラフラになって家に帰ってきても、解凍するだけで手作りご飯が食べられます。

また、**買い物もまとめてしてしまうのが効率的**です。買い物に行く回数を減らすことで、あまり必要のないものを買ってしまうことも防げます。**節約にもなりますよ！**どこに行けばいいのかわからない人は、周辺施設を紹介する記事も81ページにありますので、ぜひ読んでみてください。

最後に、**洗い物は食後にすぐ片付けてしまう**のがおすすめです。筆者の場合、放置しておくとうどんやる気がなくなっていくためです…。油を使った時は先にキッチンペーパーなどで拭き取るか、水に浸しておくとうれが落とすやすくなります。

1人暮らしの便利グッズ

ここでは、総合学域群の先輩に聞いた、1人暮らしにあると便利なグッズを紹介します。ぜひ家具や家電をそろえる時に参考にしてください。アンケートを実施し、回答が多かった順に並べました！

• 電子レンジ

やはり、電子レンジは1人暮らしには欠かせないものです。冷凍食品を解凍したり、電子レンジで食材の下処理をしたりなど、活用方法は無限にあります。学生宿舎やグローバルヴィレッジでもあると良いでしょう。

• キッチンはさみ

次に多かったのがキッチンはさみです。キッチンはさみがあれば、食材を切ったり袋を開けたりすることが簡単にできます。包丁やまな板を使わずに料理することもできます。

• 本棚

キッチンはさみと並んで多かったのが、本棚です。大学生は教科書の他、参考書籍や趣味の本を部屋に置いている人が多いです。本棚があると、部屋がすっきりします。

• デスク以外のテーブル(ローテーブルなど)

食事をする時にあると便利です。また、友人を呼んで遊ぶ時も活躍すること間違いなし！筆者は折り畳みのできるタイプを使っていますが、こたつを持っている友人もいます。

• デスク

大学生の本分は勉強です。デスクがあると、家でも課題等に集中して取り組めるでしょう。

• オープントースター

あると自炊の幅が広がります。また、冷凍した食パンを焼いてすぐに食べることができるため、自炊のモチベーションが低い時でも一応食事はできます！

• **ドライバー**

何かのネジが取れてしまった…、という時にドライバーがあれば、すぐに直すことができます。筆者も持っているのですが、何気に結構使うかも…。

• **浄水器**

つくばの水は飲めないほどまずくはないですが、浄水器があれば飲料水を買わずとも美味しい水が飲めます。

• **扇風機**

つくばの夏は湿気がすごいです。クーラーもつけると思いますが、扇風機もあると、空気の循環を促せるため、より快適に過ごせるかもしれません。

• **踏み台**

扇風機と並んで多かったのが踏み台。高い所に収納したいけど、手が届かない…という時にすごく便利です。筆者は踏み台のおかげで収納スペースをうまく活用できています。また、踏み台がないと電球を交換する時に大変かもしれません。

• **サーキュレーター**

扇風機とどちらか1つで良いかもしれません。空気を循環させる道具ですが、あると洗濯物がじめじめした日でも乾きやすいです。

• **ヒーター**

つくばの冬は寒い！という声がよく聞かれます。暖房の他にヒーターがあると、冬を乗り越える助けになるかもしれません。

• **掛け時計**

時間をすぐを知ることができるのが魅力。お洒落なものを買ったら、インテリアとしても楽しめます。しかし、アパートによっては、壁に画鋸を刺すことが禁止されていることもあるので、設置する場合は確認してから設置しましょう。

• **座椅子**

部屋でゆっくりする時にがあると便利です。折り畳み式だと使わない時には収納してスペースを広く使うことができて良いです！

以上、アンケートの結果順に軽く説明しました。アンケートの選択肢以外にも、あると便利なグッズを先輩が教えてくれましたので、抜粋して紹介します。

• **電気ケトル**

すぐにお湯を沸かすことができ、カップ麺を食べたり、お茶などを淹れたりする時に便利です。

• **除湿器**

部屋干しをすると家中がムシムシする…という問題を解決できます。

• **ココロ**

掃除したい時にサッと掃除できるのが良いです。あると部屋が綺麗に保つ一助となるかもしれません。

• **テレビ**

あると時勢についていくことができたり、1人の寂しさを紛らわしたりすることができます。筆者は持っていませんが、あったらいいな、と思うこともあります。

• **壁掛け収納**

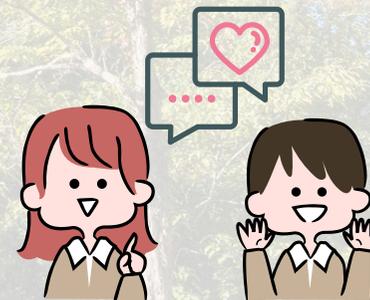
収納スペースが限られていても、壁掛け収納ができれば有効活用することができます。物が多い人は検討してみると良いでしょう。

• **マグネットフック**

冷蔵庫の横につけたり、お風呂の壁につけたり、など、活用方法は幅広いです。様々なものを掛けて収納することができます。

ちなみに、番外編ですが、「つくば市のゴミ出しルールってどうなんだろう？」と疑問を感じている人もいるかもしれません。筆者はゴミ出しカレンダーがもらえたため、それを参考にしています。さらに、「さんあ〜る」というゴミの収集日や出し方が分かるアプリがあります。インストールすると便利です！他に役立つアプリも記事『つくばに来るならおすすめのアプリ』で紹介されているので参考にしてください。

なお、ここで紹介したもの**全てが必要とは限りません**。あくまでも参考ですので、自分に必要なものを部屋にそろえましょう！



学生宿舎見聞録

新一年生の皆さんご入学おめでとうございます！ここからは、筑波大学の学生宿舎やそこの生活について、筆者の実体験や見聞に基づいて紹介します。宿舎生活の一助になれば幸いです！

学生宿舎とは

筑波大学が学生に提供する住居のことです。大学は学生宿舎に関して「自律的な市民生活を体験させること」を目的としているため、いわゆる「学生寮」とは異なり門限や食事の提供はなく、一人一部屋が割り当てられますが、トイレ、シャワー、キッチンなどは共用です。

筑波大学の学生宿舎は北から、最北の「**一の矢**」、南部に連続する「**平砂**」「**追越**」「**春日**」の4地区があります。なお、4地区の学生宿舎がすべて同じ仕様というわけではありません。そこで、今回は各地区で共通する宿舎生活の基本を説明します。

学生宿舎のメリット

学生宿舎のメリットは、**費用体系のわかりやすさ**と**入居後すぐに学生生活を安定して始められる点**にあります。

〈費用体系のわかりやすさ〉

2026年4月より寄宿料は改定され、**共益費**が新たに加わりませんが、最も部屋数の多い一般改修棟では、共益費を含めても**月額3万円弱**と、学生の一人暮らしとしては依然として負担を抑えた水準となっています。

共益費には、共用部分やLAN設備の維持管理費、光熱水費、老朽化に伴う修繕費などが含まれており、学生が安心して住み続けられる生活環境を維持するために活用されています。なお、光熱費のうち電気代については使用量に応じた費用が別途自己負担となり、原則として三か月ごとに請求されます。

〈入居後すぐに学生生活を安定して始められる点〉

近年の設備更新により、居室には**エアコンが標準設備**として設置されるようになりました。筆者が入居していた当時はエアコンが標準設備ではなく、学生宿舎一斉入居日に電気店で購入し、取り付け日まで防寒着を着込んで過ごした経験があります。現在はこうした手間や初期費用が不要となり、入居後すぐに快適な生活を始められる環境が整えられています。このような設備更新が進められている点も、学生宿舎の大きな魅力です。

周辺には同程度の家賃帯のアパートもありますが、学生宿舎は初期費用を抑えやすく、費用体系が分かりやすい点に加え、**通学の利便性**や**学生同士の交流が生まれやすい**という特徴があります。また、日常的に居住者が掃除を行う必要があるのは自室のみであり、共用スペースについては週に一度清掃が入るため、生活面での負担が比較的少ない点もメリットの一つです。

これらの点から、学生宿舎は筑波大学での生活を円滑にスタートさせるための、有力な選択肢の一つと言えるでしょう。

学生宿舎のデメリット

一方で、学生宿舎には生活スタイルによっては不便に感じられる点もあります。

〈居室の広さ〉

一つ目は居室の広さです。備え付けの備品のみ状態では大きな不便を感じにくいものの、家具や私物を置くと、部屋の狭さを実感する場合があります。実際の間取りについては、筑波大学アドミッションセンターがYouTube上で公開している「**筑波大学学生宿舎 オンライン見学**」の動画で確認することができます。(<https://www.youtube.com/watch?v=BP0odnWycKE&t=3s>)

〈騒音〉

二つ目は騒音です。特に夜間には、電話の話し声やドライヤーの音、屋外での話し声、部活動の応援や声かけなどが聞こえることがあります。静かな環境を重視する人にとっては、気になる場面があるかもしれません。

〈衛生面〉

三つ目は衛生面です。トイレやシャワー、キッチンが共用設備であるため、清潔さは共に利用する入居者のマナーによって大きく左右されます。具体的には、トイレではトイレトーパーの補充、シャワーでは排水溝にたまった髪の毛の除去や脱衣所での水はねへの配慮、キッチンでは水や食べ物の飛び散りへの対応などが必要となります。これらの点は、日常的に入居者同士の **思いやり** に委ねられている部分です。

〈タイムスケジュールの乱れ〉

四つ目は自分のタイムスケジュールが乱れることです。キッチン・シャワー・洗濯機は共用のため、どうしても自分の使いたい時間に使えない事態が発生します。特にシャワーは、タイミングが悪いと **30分程度待つ** ことになる可能性もあります。

これらの点については、感じ方に個人差があります。学生宿舎を検討する際には、こうした特徴も踏まえたうえで、自身の生活スタイルに合っているかを考えることが大切です。

まとめ

学生宿舎は、費用体系が分かりやすく、設備更新によって入居後すぐに安定した生活を始められる点が大きな魅力です。一方で、居室の広さや騒音、共用設備の利用といった点については、生活スタイルによって不便に感じる場合もあります。メリットとデメリットの双方を理解したうえで、自分に合った住環境を選択することが大切です。

学生宿舎一斉入居について

学生宿舎一斉入居とは、**新入居者が入学式前の指定日にまとめて入居する制度**のことです。一斉入居当日は、鍵の受け取りや各種手続きが同時に進められるため、多くの新入生が学生宿舎周辺に集まります。

その影響で、周辺の電気店や家具店が混雑したり、家電の配送や設置に時間がかかったりすることがあります。また、カーテンや浄水器などの生活用品は **数に限りがある** ため、早めの購入が必要になる場合があります。特にカーテンについては、学生宿舎の窓のサイズに合うものが限られており、一斉入居当日に販売されている商品を購入する必要があります。さらに、電子レンジや冷蔵庫の中古品についても数に限りがあるため、希望する場合は早めの対応が求められます。過去にはエアコンの中古貸し出しも **数量限定** でした。

現在は設備更新により、エアコン設置など一部の負担は軽減されていますが、一斉入居という仕組み自体は変わらず続いています。学生宿舎への入居を検討する際には、このような一斉入居の特徴を理解したうえで、必要な準備や心構えをしておくことが大切です。

宿舎生活であるとよいもの

ここでは、宿舎生活において住んでみないと分からない、あると便利なものを紹介します。

- 電気ポット**：共用キッチンに行かなくてもすぐにお湯が使えるため、飲み物や簡単な食事の準備が手軽にできます。
- キャスター付きワゴン**：収納や作業スペースを柔軟に増やせるため、限られた居室空間を有効に使うことができます。
- 卓上クッキングヒーター**：自室で簡単な調理ができ、混雑しやすい共用キッチンを使わずに済む場面があります。
- サンダル**：共用スペースを移動する際は外履きが必要になります。脱ぎ履きの楽なサンダルがお勧めです。

□**突っ張り棒・ハンガーラック**：宿舎では外干しができないため、室内で洗濯物を干す際にあると便利です。

□**100円玉**：シャワー・洗濯機の利用の際に毎回必要になります。入居日当日から必要になるため、事前にある程度は用意しておくことをお勧めします。

共用スペースについて

まず 玄関では「郵便受け・玄関セキュリティシステム」、そして各階では「トイレ・洗濯機・乾燥機・キッチン・コインシャワー」が共用となっています。なお、4階にはコインシャワーはありません。

□**郵便受け**：各部屋に一つずつ割り当てられています。開け方は部屋の備品である「無線 LAN や郵便受け等に関する説明書をまとめたファイル」(以下「ファイル」)に記載されています。電気代の払込用紙などはここに投函されます。他にも市や大学からの書類が投函されるので、定期的を確認しましょう。



□**玄関セキュリティシステム**：学生宿舎のオートロックシステム。中に入るには、入居者各自のIDとパスワードを端末に入力する必要があります。IDは棟番号と部屋番号を組み合わせた数字5桁、パスワードは入居者自身が設定した4桁以上6桁以下の数字列のことで、まずIDを端末に入力したら、端末入力部の下にある銀色のタッチセンサーを触ります。次にパスワードを端末に入力したらタッチセンサーを触ります。パスワードが正しい場合はタッチセンサー接触後に玄関が開錠されます。入力ミスの場合はID入力からやり直します。トラブル等であかない場合は各地区の管理事務室まで電話しましょう。詳しい方法やトラブルシューティングは「ファイル」を確認してください。

□**洗濯機・乾燥機**：洗濯機は一回200円、乾燥機は30分一回100円で利用できます最近キャッシュレス対応の洗濯機も導入されつつあります。洗剤・柔軟剤は各自で用意します。部屋の湿度が高い場合や梅雨時には乾燥機も活躍します。ただし、乾燥機といえどもパーカーやデニムパンツといった厚手の服は一回では乾かしきれないようです。一回あたりに入れる服の量によっては乾燥しきらず二回目を回す羽目に…。なお、洗濯機・乾燥機ともに前の人の服が残っている場合があるので、コイン投入前に確認するようにしましょう。また、機械の運転が終わったら忘れ物がないよう早めに回収しましょう。



□**キッチン**：二口ガスコンロ・換気扇・シンク・給湯器で構成されています。キッチンに私物を放置してはいけません。また、シンクには三角コーナー等は設けられていないため、調理の際に出た生ごみは各自で回収し処分する必要があります。

□**コインシャワー**：1回100円で9分間お湯を利用でき、シャワーを止めている間は時間も進まない仕組みです。共用設備のため利用時間帯によっては混み合うこともあります。



部屋について

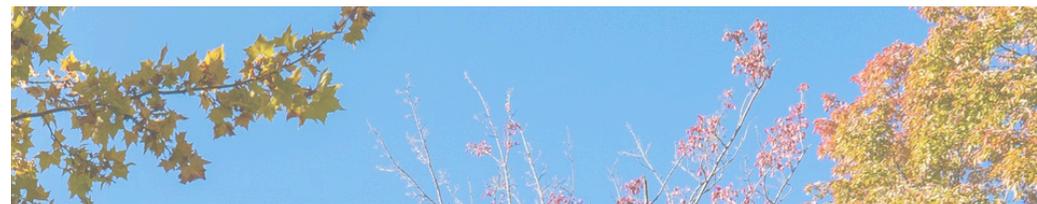
部屋の形は棟や、あるいは同一棟内でも場所によって変わります。しかし、部屋の広さはどの部屋でもさほど変わりません。

部屋の備品は「ベッド（マットレス含む）・独立洗面台（春日地区除く）・デスク・椅子・パネルヒーター・無線LAN・内線電話・無線LANや郵便受け等に関する説明書をまとめたファイル」となっています。



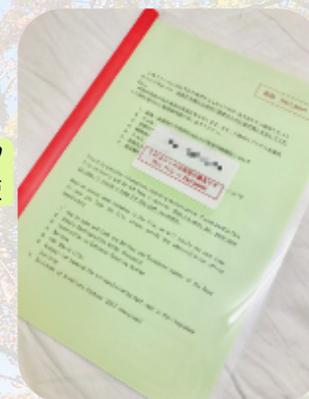
□**ベッド**：入居時にはベッドとマットレスのみがある状態です。シーツやまくら等の寝具は持ち込んだものを使うこともできますが、リース品を使用することもできます。各地区にある寝具交換所にておおよそ10日に一回、無料で交換、借りることができます。毛布は有料でレンタルすることもできますが、新学期4月の頭はまだ寒いことがあるので、冬にも備えて掛け布団を一枚程度持ち込むと安心かと思います。

□**パネルヒーター**：各部屋に一台、窓側に設置されています。ただし、入居者自身が操作することはできません。運転期間および運転時間帯があらかじめ定められており、各地区にある学生宿舎管理事務所によって稼働するよう設定されています。



□**無線LAN**：部屋入り口上部に無線LAN(Wi-Fi)のアクセスポイントが設置されています。接続・利用方法は、「無線LANや郵便受け等に関する説明書をまとめたファイル」に記載されています。なお、このアクセスポイントの撤去は禁止されていますのでご注意ください（紛失・破損が確認された場合は原状回復にかかる費用を居住者側で負担する場合があります）。

□**無線LANや郵便受け等に関する説明書をまとめたファイル**：机の引き出しの中にあります。無線LANの使用法や郵便受けの説明に加え、日常生活に関するFAQが綴じ込まれています。



グローバルヴィレッジとは

グローバルヴィレッジ(通称グロビ)は平砂学生宿舎の近くにある筑波大学の宿舎の一つです。他の平砂や一の矢などの学生宿舎より新しく建てられたため、値段が高い分内装も外装も綺麗です。また大きな特徴の一つとして **シェアハウス型の宿舎**であることが挙げられます。名前に「グローバル」と入っている通り、海外からの留学生が各ユニットに最低一人は住んでいます（たまに居ないユニットもあるらしい）。ほかにも他の宿舎とは大きく異なる特徴が多く存在します。

グローバルヴィレッジのメリット

真っ先に挙げられるメリットは部屋が **綺麗** で他の宿舎よりも **広い** ことです。最初の説明でも述べた通り、新しく建てられたばかりであるため使用感がなく快適に生活することができます。他の宿舎では服を収納するスペースが無いゆえにベッドの高さをあげてベッドの下に収納するという話をよく聞きますが、グローバルヴィレッジにははじめからクローゼットがついているため、そういったことをする必要がありません。また他の宿舎の洗濯機は使う際に 200 円かかるのに対し、グローバルヴィレッジでは 100 円しかかかりません。また暖房をつけるタイミングを自分で選べることも、実は他の宿舎にないメリットです。

グローバルヴィレッジのデメリット

デメリットとしては **家賃やその他光熱費が高くなること** が挙げられます。料金が改定されたためなおさらです。もう一つ挙げられるデメリットとしては、自分たちでユニットの掃除をしなければならないことです。他の宿舎ではトイレやシャワー室の清掃が週一で入りますが、グローバルヴィレッジには清掃が入らないため自分たちで掃除しなければなりません。同じユニットの人と最初に相談しておくことが大切です。

グローバルヴィレッジで必要なもの

・あるとよいもの

□**物干し竿・ハンガーラック**：グローバルヴィレッジの各部屋にはベランダがついており、洗濯物を干すことができますが、物干し竿はないため自分で買う必要があります。しかし干せる位置が低いのでズボンなどは地面についてしまう可能性があります。室内で干すならばハンガーラックも必要になるでしょう。

□**延長コード**：部屋に一つ備え付けられてはいますが十分とは言えません。コンセントの数も場所も制限されての生活は厳しいので、用意しておくことをお勧めします。

□**電気ケトル・炊飯器・トースター**：これらのものは備え付けられていないもので、かつあった方が便利なものです。なくても生活はできますが、一人暮らしにおいて欠かせない自炊での幅がなくなってしまうため、特に電気ケトルと炊飯器は買うことを強くお勧めします。

共用スペースについて

□**ユニット**：各ユニット最大5人まで住むことができます。最初にシェアハウス型の宿舎と述べたように、この五人での共同生活となります。各ユニットにはトイレが二つ、洗面台二つ、シャワー室一つ、キッチン一つがあり、それにリビングと五人それぞれの部屋で構成されます。また、ユニットの共用部分に電子レンジ、冷蔵庫、食器棚がついています。たまに先輩がおいていったトースターなどがある場合も？

□**スペース**：ユニットの中で部屋を除いた部分であり、同じユニットの住人と共有するスペースです。上記のようなトイレ、洗面台、シャワー、キッチンもこれに属します。



記事、編集担当：石井 和彩

□**コミュニティステーション**：グローバルヴィレッジにはコミュニティステーションという施設があり、様々なイベントが行われています。また住人なら自由に使うことのできるオープンスペースなどがあり、自習などで利用することができます。ほかにもスタディールームと呼ばれる部屋を借りることもでき、そこは友達と自由に会話しながら勉強をすることができます。24時間空いているスペースもあり自販機などもおいてあって使いやすですが、席の数はそこまで多くないです。夏場は冷房が効いていて涼しいですが、冬場は寒いです。

□**コインランドリー**：洗濯機はユニットには備えていませんが、グローバルヴィレッジ内にコインランドリーが幾つかあり、一回100円で洗濯することができます。

□**宅配box**：自分に届いた宅配物が受け取られなかったときに、ここに宅配物が入れます。入居時にもらえるカードキーで開けることができます。ただ同じユニットの人が受け取ってくれる場合もあり、あまり使う機会はありません。

部屋について

各部屋には一つのベッド、机、棚、クローゼット、卓上ライトが備え付けられています。家具の配置は自由ですが、部屋がそんなに広くないため配置の方法は限られます。

自宅通学について

自宅通学(以下、宅通)とは実家から筑波大学に通うことを指します。宿舎やアパートなどで一人暮らしをする人の割合が多い筑波大学においてはマイノリティであり、筑波大学のアクセスの悪さを筆頭に様々な苦労があることから宅通=多苦痛と表現されることもしばしばあります。実際に筆者も宅通をしておりますが、正直に言うと宅通はおすすめしません。この章は宅通のメリットとデメリット、そして簡単な質問とその回答を掲載しましたので、宅通の方や宅通か一人暮らしで悩んでいる方は参考にしてください。

〈メリット〉

まず、家事は基本親にやってもらえるため、一人暮らしに比べたら生活面が段違いに楽です。自炊、掃除、洗濯など自分でやる必要がないので、生活以外のことに集中できます。総合学域群の学生にとっては移行のための勉強に集中できるのが大きなメリットといえるでしょう。

特に宅通の人は健康的な食生活を維持しやすいと言えます。一人暮らしの自炊で栄養バランスがしっかりとれた料理を毎食食べる、というのはとても難易度が高いです。時間的・体力的な余裕がないために、外食や食事抜きに陥りがちというケースは多いです。

また、アルバイトがしやすく、経済的にも余裕があります。また家に帰れば家族がいるので孤独を感じることはありません。地元の友人とも気軽に会うことができます。また、宿舎と違って毎日お風呂に入れることも利点と言えるでしょう。また東京で宅通している人は最低賃金がつくばより高いのでよりお金を稼ぐことができます。

〈デメリット〉

言うまでもなく宅通最大のデメリットはその通学のつらさです。1限の開始時刻が8時40分なのでそれまでに大学にいないではなりません。公共交通機関が遅延したり、乗り遅れたりすると授業に間に合わなかったり、最悪テストに遅刻してしまったりする可能性があります。サークル活動に力を入れようとするとも自然的に帰宅時間も遅くなってしまいます。また、一コマだけの日やサークルだけのための日は来るモチベーションもだんだんなくなっていきます。

また筑波大学は一人暮らしの人が多くて疎外感があります。友人やサークルの集まりの途中で抜けなくてはいけなかったりサークル後のご飯や飲み会に行きにくかったりします。皆が楽しんでいる中帰宅するのは中々つらいものがあります。急遽サークルで遊ぶ予定が立ったとしてもつくばにいないと参加するのは難しいです。

Q：どの県から通学している人が多い？

宅通をしている人は東京や千葉、神奈川、埼玉の人が多い印象です。反対に、北関東出身の人は下宿している人が多いように思います。これは、交通網の発達具合に因る所が大きいと考えられます。同じ茨城県内であっても、宅通できる足がない、ということで下宿している人もいます。もし「県内(または、隣接の県)だから大丈夫!」と思っている人は、本当に通えそうか今一度調べてみた方がいいかもしれません。

Q：宅通の人はどのくらいの時間をかけて通学しているのか？

宅通の通学時間で最も多かったのは、「1時間～1時間半」という回答でした。通学時間については1時間半以内かどうか、1つの目安になりそうです。一方で、中には2時間以上かけて通学している人もいますので、それ以上かかる場合でも、宅通を選択肢の1つとして考えてみることはできるかもしれません。

Q：通学方法を変更した人はいるのか？

宅通から下宿に通学方法を変更した人もいます。また、下宿から宅通に変更したという人もいます。それぞれ簡単に理由を説明したいと思います。

<宅通→下宿>

下宿を始める理由としては、「終電や終バスを気にすることが面倒だった」という意見がありました。そして、「通学に時間がかかるため、朝早く起きる必要があり、睡眠不足で体調を崩した」という声もあり、注意が必要です。サークルは授業後に活動が始まるので、解散が21時以降になることはよくあります。入眠時間が高校時代よりも遅くなるのは覚悟するべきです。

また、普段から早起きをする習慣があるならよいですが、慣れていない人が早起きをするのは難しいかもしれません。宅通にするか、下宿にするかの判断基準に「高校と比べて、朝起きるのが早くなるかどうか」を入れても良さそうです。またそれに関連して「サークルがあると夜の帰宅が遅くなり、生活リズムが崩れた」という声がありました。筑波大生は下宿している人の方が多いので、サークルの時間等も下宿の人のベースになりやすいことは念頭に置いておくといいでしょう。

一方で、宅通を続ける理由としては「必ずしも大学生生活に大きな支障が出るわけではない」ということが挙げられていました。例えば文化系サークルの活動は21時頃に終了することが多いですが、電車やバスの最終便の時間に間に合うようであれば、そうしたサークル活動にも十分に参加することができます。自宅から通学するか下宿するか迷っている人は、自分が利用する交通機関の最終便の時間を確認してみてください。また、「自動車免許を取得して自動車を通うようになり、通学がかなり楽になった」との声がありました。通学時間に心配がある人は、自動車免許を取るのも1つの選択肢だと思います。

<下宿→宅通>

下宿から宅通に変更する理由としては、宅通の方が安い、生活の質が保ちやすいなどが挙げられます。一人暮らしをするには家賃や生活費が宅通の時以上にかかります。一方、交通費はかからないため宅通の方が安くなるかどうかは人によります。実際に下宿から宅通に変えた人では宅通の方が安く済むという声がありました。

宅通に変更するメリットとしては生活リズムが整うことが挙げられます。早寝早起きが習慣化し、食事を実家で用意してもらえるため、栄養面でも安心感があります。また、通学時間が長い分、電車の中で読書をするようになり自然と読書の習慣が身についたなどの声がありました。家には常に家族がいるため、下宿時代に感じていた孤独感がなくなり、精神的に安定したと感じるようになる側面もあります。

一方で、宅通ならではのデメリットもあります。特に時間的・肉体的な負担は大きく、かなりキツく感じると思います。1限は特に大変で、体力的に厳しいと感じることが多くあるでしょう。また、家事を親に任せてしまう分、ひとりで生活する力が身につけにくい点もデメリットだと思います。加えて、休日は外に出るきっかけが少なく、暇を感じることもあったという意見もありました。

編集者の一言

私自身も宅通がギリギリ不可能ではないくらいの距離に実家がありますが、つくばで一人暮らしをしています。先輩の中には下宿から宅通に変更した後で、研究室配属のタイミングで再びつくばに住み始めた人もいます。宅通と下宿にはそれぞれメリット・デメリットがあります。周囲の情報をよく集めたくて、自分の生活スタイルに合う形を選んで欲しいです。

つくばの周辺施設

筑波大生を満喫し、生活するうえで欠かせないのが周辺施設情報。今回は周辺の飲食店・スーパーなどぜひ行きたい店についてお役立ち情報をギュギュッとまとめました！()は店の種類となっており、番号の色は→にあるgooglemapのピンの色と対応しているため、ぜひ地図を参考にしてください！



ご飯系

① 春日食堂 (定食)

・筑波大学内春日エリアの春日福利厚生棟にある。リーズナブルな価格設定で、日替わり定食がおすすめ

本学

② さんきち (定食・居酒屋)

・お店の雰囲気良く、焼き鳥やおつまみの種類が豊富で美味しい

③ あじ彩 (居酒屋)

・おつまみのクオリティが高く、落ち着いた空間で食事ができる。宴会むき

④ ニューミラ (インド料理・カレー)

・カレー専門店。ナンは2枚までおかわりが可能

⑤ カレーうどん ZEYO (カレーうどん)

・トッピングが豊富なカレーうどん専門店。サイドメニューのコロッケ丼もお勧め

⑥ 中華第一麺 (中華)

・安くてボリューム。特にかからあげ定食が学生に人気

⑦ 金の馬結 (中華)

・麻婆豆腐が美味しく、辛さを好みに合わせて選ぶことができる

天久保
2丁目

⑧ ふくろう (定食・居酒屋)

・安くてボリュームがある。特にもつ煮込み定食がおすすめ

⑨ ジュエルオブインディア (インド料理・カレー)

・本格的なインドカレー。ナンがおかわり自由で満足度が高い

⑩ 楽蔵 (定食・居酒屋)

・居酒屋だが日替わりの定食があり、安くて家庭的な味が楽しめる

⑪ めしや益さん (定食・和食)

・大学会館近くの定食屋。魚の定食が絶品で、おしゃれな雰囲気が特徴

天久保
3丁目

⑫ 百香亭 (中華)

・本格的な中華料理店。大皿はボリュームがあるため、シェアすると安上がり。黒酢豚が絶品

⑬ 福建餃子 (中華)

・ご飯のおかわり可能。お弁当も温かくて美味しく、手頃な値段で購入できる

⑭ XI'AN (中華)

・大学会館から近くアクセスが良い。安くてちょうど良いボリューム

⑮ ドルフ (洋食・定食)

・大学会館から徒歩1分。安くて美味しく、特にチキン料理が人気

⑯ クラレット (洋食)

・とにかく量が多く、学生向けのコストパフォーマンスに特化している

⑰ 東京バル (イタリアン)

・おしゃれなイタリアンレストラン。価格は少し高めだが雰囲気が非常に良い

天久保
3丁目

⑱ 松のや (定食)

・安い上にご飯と味噌汁のおかわりが無料で、コスパが非常に高い

天久保
4丁目

⑲ 夢屋 (定食)

・唐揚げなどの揚げ物が美味しい。ご飯の量が非常に多く、満腹になれる

春日
4丁目

⑳ えん弥 (居酒屋・中華)

・1品ごとの量が多く、複数人でシェアすると非常にコスパが良い

桜
1丁目

ラーメン

① らららーめんや (ラーメン)

・地元に根付いた、親しみやすい味わいのラーメン店

② 大成軒 (中華・ラーメン)

・町中華のような雰囲気で、ラーメンやチャーハンが楽しめる

③ 七福軒 (ラーメン)

・煮干し系や個性的な限定メニューが人気の行列店

天久保
1丁目

4 むじゃき (ラーメン・つけ麺)

・満足度が高く、チケットをためると大盛りや追い飯が無料になるサービスがある

5 真壁屋 (ラーメン・油そば)

・平砂宿舎から近く比較的安価。油そばが人気で、キャッシュレス決済も利用可能

6 鶏々 (ラーメン・つけ麺)

・太麺が特徴で、つけ麺が美味しい。大盛りはかなりのボリュームがある

7 一壺茶 (麻辣湯)

・自分で具材を選んで作る、本格的な麻辣湯が楽しめる

8 茅堂寺 (ラーメン)

・盛り付けが美しく、独創的なラーメンが楽しめる。和え玉の種類も多い

天久保
2丁目

9 秀彬 (ラーメン)

・昔ながらの雰囲気漂うラーメン店

10 俺の生きる道W (ラーメン・二郎系)

・圧倒的なボリュームを誇る二郎インスパイア系。学生に非常に人気がある

11 清六家 (ラーメン・家系)

・濃厚なスープの横浜家系ラーメン。市内に複数店舗展開している

天久保
3丁目

12 銀の豚 (ラーメン・二郎系)

・つくばで二郎系ラーメンを楽しめるお店

13 ラーメンショップ (ラーメン) [妻木]

・長年愛されるチェーン店。ボリュームがあり、ネギラーメンが定番

妻木

14 龍介 (ラーメン・つけ麺)

・濃厚な鶏魚介スープが特徴。行列ができるほどの人気店

桜
1丁目

15 一休 (ラーメン)

・鶏白湯などが人気の実力派ラーメン店

16 膳匠(あたり) (ラーメン)

・シンプルで懐かしい味わいのラーメンを提供している

桜
2丁目

17 山岡家 (ラーメン)

・24時間営業。味が濃くこってりとしたスープが特徴で、中毒性がある

小野崎

その他 (パン・スイーツ・カフェ)

1 粉クリ (パン)

・正式名称「粉とクリーム」。3学を中心に店舗を展開しており、パンの種類が非常に豊富で「切り株」のようなパンが有名

2 鈴家のパン (パン)

・地元で親しまれている、素朴で美味しいパンが揃う。筑波大学内に広く展開している

本学

3 ベッカライ・プロトツァイト (パン)

・本格的なドイツパンのお店。ハード系のパンのクオリティが非常に高い

天久保
2丁目

4 モメンタム (パン)

・去年出来た、センスの良い内装のおしゃれなパン屋

5 らんぷ (カフェ)

・こだわりのコーヒーやスイーツを落ち着いた空間で楽しめる

6 N's Café (カフェ)

・ゆったりとした時間を過ごせる、アットホームなカフェ

天久保
3丁目

7 moiikka (パン)

・北欧風の可愛いパン屋

春日
4丁目

8 ル・パン・グリグリ (パン)

・自家製酵母などを使用した、こだわりのパンが人気

桜
2丁目

9 サンドウィッチ Morris (サンドウィッチ)

・具材たっぷりのボリューム満点なサンドウィッチ専門店

吾妻
3丁目

10 コート・ダジュール (スイーツ)

・つくばを代表する有名洋菓子店。ケーキや焼き菓子が贈答品にも最適

東新井

ファミレス

① ココス (ファミレス)

- ・テクノパーク桜店は午前2時まで営業しており、夜遅い時間の食事に便利

天久保2
桜2

② ガスト (ファミレス)

- ・豊富なメニューとクーポンが魅力の定番ファミレス

桜
1丁目

③ ジョイフル (ファミレス)

- ・夜2時まで空いており徹夜でレポートに追われる学生の強い味方

④ サイゼリヤ (ファミレス)

- ・つくば駅前などにあり、コストパフォーマンスが抜群

吾妻
1丁目

ショッピング・ドラッグストア

① らふるった (八百屋)

- ・野菜がとにかく安い

天久保
1丁目

② KASUMI (スーパー)

- ・桜店は24時間営業で、平砂店は宿舎から近くアクセスが良い

天久保3
桜1

③ ウエルシア (ドラッグストア)

- ・ほぼ全地区にあり、深夜まで営業しているため日用品の購入に便利

④ ジェーン (スーパー)

- ・飲み物や一部雑貨・お菓子が非常に安い野菜や肉を買うのには向かない

桜
2丁目

⑤ TAIRAYA (スーパー)

- ・安価で、一人暮らしの学生に優しい品揃え

桜
3丁目

⑥ ロピア (スーパー)

- ・つくば駅近くにあり、お惣菜の質が高く、特にお肉が安い。支払いは現金か独自のプリペイドカードのみ (クレカ不可)

吾妻
1丁目

⑦ Belc (ベルク) (スーパー)

- ・店内が広く、買い物がしやすいが現金のみ

小野崎

⑧ タイヨー 学園の森店 (スーパー)

- ・野菜が安い

学園の
森

⑨ コストコ (大型スーパー)

- ・1つ1つの量が多いがコスパが良く、パーティーの食事やまとめ買いに向いているが会員カードが必要であり、年会費を折半して利用する学生も見られる

⑩ 業務スーパー (スーパー)

- ・冷凍食品についてはとにかく安く、コストパフォーマンスを重視する学生に最適

⑪ TRIAL (トライアル) (スーパー)

- ・24時間営業で食品・日用品も何でも揃う。全体的に良心的な価格設定

⑫ イーアスつくば

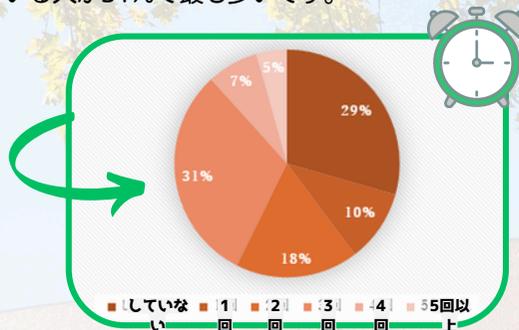
- ・ファッション・フード・雑貨・家具・文房具etc…何でもそろろう心躍るショッピングモール。筑波大生にとって一番近いレジャースポットといっても過言ではない

筑波大生のアルバイト

大学に入学してアルバイト(以下、バイト)を始める方も多いと思います。とはいえ学業優先の総合生。ここでは総合生がどれだけバイトをしているか、バイト先を選ぶうえで失敗しないコツを紹介します。

1週間に何回バイトをしているのか

おおよそ7割近くの人がアルバイトをしています。頻度は人それぞれですが週3回アルバイトをしている人が31%で最も多いです。



おすすめのアルバイト先

□飲食

賄いがあるからという理由が最も多かったです。ただ賄いはあるところとないところがあるそうなので事前リサーチが重要です。個人店を推している人が多いです。

” (個人店の方が優しい!という噂、逆にチェーン店はパワハラ店多めとの噂も)

□塾講師

時給が高いという意見が多かったです。また、教えることにやりがいを感じるのとことです。(ですが一日に入れるコマ数が少ないため日給は低め?)

この他にもスーパーや倉庫、単発バイトなど、様々なところがおすすめされています。楽しさや職場の柔軟さを重視している人がたくさんいました。

ちなみに筑波大学周辺だと時給の目安は茨城県最低時給1074円~1100円といった所で、1150円を超えるアルバイトは珍しく、東京や千葉の都会まで出稼ぎに行く人も見られます。

バイト先選びで後悔しないコツ

総合生に聞いた、バイト先選びで大切なことを抜粋して紹介します。

 飲食系など、店舗があるところには応募する前に実際に足を運んでみると雰囲気とか分かって良いかもしれません。先輩に聞くのもおすすめです!

面接は試験ではなく相互理解の場だと思うのが大事だと思う。分からないことはその場で積極的に聞く!

働きやすい、ストレスのたまらない雰囲気が一番重要だと思います。

いろいろな職種で働ける今のうちにやりたいバイトをやると後悔がないと思います。合わなかったらバイト先を変えることも今はやりやすい時代です。

筑波大学周辺のバイト情報

一般的なバイトアプリはつくば駅が基準で大学から遠いことも…。筑波大学では公式に契約して運用しているバイトネットというサイトがあり「筑波大学 バイトネット」のように検索するとヒットします。バイトルやIndeedといった全国ネットに掲載されているような求人だけでなく筑波大学家庭教師求人会といった地元特有の求人が掲載されていることもあります。バイト先に迷ったらのぞいてみましょう。

→[筑波大学 | バイトネット \(筑波大学生向け学校周辺のアルバイト情報\)](https://baitonet.jp/tsukuba/)

<https://baitonet.jp/tsukuba/>

単発バイトの一種として治験バイトがあります。筑波大学の学生団体C4が運営するwebサイト「つくナビ」のアルバイト募集掲示板では、筑波大学・筑波技術大学の4年生・院生や産総研が謝礼金500円~1万円で日々さまざまな実験への参加者を募っています。

→<https://tsukunavi.com/>

大学周辺の飲食店・スーパー・ドラッグストアや商業施設のほとんどに求人広告が張られているため、実際に行ってみて働きたいと思ったお店に直接連絡して面接を受けるのもおすすめです。

バイトに関する法律

大学生生活を彩るバイトですが、実は法律違反に該当するルールがまかり通っていることもあります。確かに、その不条理がバイター同士の絆を醸成することもあります。もちろん自分を苦しめることもあります。以下に、バイトを選ぶ際の注意事項を列挙しましたので、是非バイト先を選ぶ際の参考にしてください。

①シフトを休む時に代理を探すのは義務ではない

急な体調不良などで休む際、代わりの人を自分で見つけるよう強要されることがありますが、労働者にその義務はありません。

本来、人員を確保するのは管理者の仕事です。「代わりがいらないなら休ませない」といった強要は、労働基準法に抵触する可能性があります。早めの連絡はマナーですが、責任を感じすぎなくて大丈夫です。もし代理を探すのが絶対に嫌な場合は、面接時に「欠席連絡の方法はどのようになっていますか？」と聞くとういでしょう。

②準備時間にも給料が出る

授業前の準備や報告書の作成、着替えなどの時間がタダ働きになってしまうことがありますが、バイターはその準備時間の間も給料をもらう権利があります。

裁判例でも「雇い主の指揮命令下にある時間」はすべて労働時間とみなされます。バイトの場合1分でも業務に関わるなら時給が発生するのがルールです(※業務委託契約はルールが異なります。自分の契約がどちらか最初に確認しておきましょう)。

③バイターでも有給休暇は取れる

有給は正社員だけでなく、バイターも条件を満たせば取得できます。

労働基準法第39条により、一定の条件(半年以上の勤務、労働日の8割以上の出勤)を満たせば、バイトでも有給をもらう権利が発生します。シフト制でも、週の勤務日数に応じた日数が付与されるので、気になる場合は面接時に「有給は取得できますか？」と聞いてみましょう。

④バイト先都合のシフトカットは手当が出るかもしれない

急にシフトをキャンセルされた場合は休業手当が出るかもしれません。

会社側の都合で確定していたシフトがなくなった場合、労働基準法第26条では休業手当(平均賃金の6割以上)を支払う義務が発生することになっています。なお、民法上の考え方では全額請求できるケースもあります。しかし、平均賃金の算出を個人で正確に行うのは手間がかかります。実際には、金銭ではなく別の日のシフトを増やしたり、賄いを豪華にしたりといった現場判断で調整されることも多いです。法的な権利を知識として持っておきつつも、我慢できる範囲はバイト先との持ちつ持たれつ関係を維持するのが賢明です。

⑤給料は1分単位の支払いが原則

15分単位で切り捨てなど、端数の給料がカットされることは違法です。しかし、古い企業だとその制度のままのバイト先もあるかもしれません。

15分単位で切り捨てるとは、例えば12時から15時までのシフトだったが、少し残業をして15時14分に業務が終了したとします。しかし、15時15分にタイムカードを切らないと14分間の給料は支払われないということです。労働基準法第24条の「賃金全額払いの原則」により、給料は1分単位で計算するのがルールです。それが一方的な切り捨てになっている場合は注意が必要ですが、反対に、その1分や数分間、何もなくても待たせてくれたり、他の人が代わりにタイムカードを切ってくれたりという優しい職場もあります。

編集担当からの一言

本学周辺よりもイーアスつくば内や駅ビルの店舗でのバイトは時給が50円ほど高く、種類も多いため多くの筑波大生が働いています。しかし時給だけで選ぶのは禁物。22時過ぎにバイトが終わってから20分以上かけて自転車で家まで帰るのはかなり心身に来る(実体験)ため、移動距離も込みでバイト先を選びましょう。辞めるときは思い切り！

筑波大生の自転車事情

🚲はじめに

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！筑波大生にとって、自転車は「人権」と呼ばれるほどの必需品です。この章では、そんな筑波大生の自転車事情について、実際の学生の声も交えながら紹介したいと思います。皆さんの大学生活のイメージを膨らませる手助けになれば幸いです。

🚲大学構内の自転車事情

□ペDESTリアンデッキ

ペDESTリアンデッキとは、学内を縦に貫く学内移動用の通路で、筑波大学のあらゆる施設にアクセスしやすいような設計になっています(詳しくは4,5Pの地図をご確認ください)。ペDESTリアンデッキも車道と同様、原則左側通行です。しかし、ペDESTリアンデッキは便利な一方、上り下りが激しいので、場所によっては事故が発生しやすいところもあります。以下では、総合学域群の学生(以下、総合生)の声を基に、特に注意が必要な場所を紹介します。

□大学会館エリア

大学会館は入学式だけでなく、総合学域群のオリエンテーションや健康診断の会場にもなっており、4月には度々訪れることになる場所です。

そんな大学会館の前にはV字の坂があり、それが自転車にとってとても危険な場所です。その理由は、この坂の下り坂→横断歩道→上り坂という構造にあります。実際に筆者は、「ここで自転車に轢かれたことがある」という投稿を見ました。また、坂自体の傾斜も結構きついためスピードが出やすく、急停止が間に合わず事故につながるケースもあります。教室移動の際には混雑する場所でもあるため、通行には注意が必要です。



□第一エリア

大学会館から第一エリアに向かうまでの道にも危ないと感じやすい場所があります(入学式後の新歓イベントで最初に通ることになると思います!)。ここは、大学会館→長い橋→下り坂というルートになるのですが、坂の終着点が学外から来る人との合流地点になっています(図1参照)。ここの合流のタイミングが非常に難しいうえ、下り坂ということもあって、危険と感じる人も多いようです。

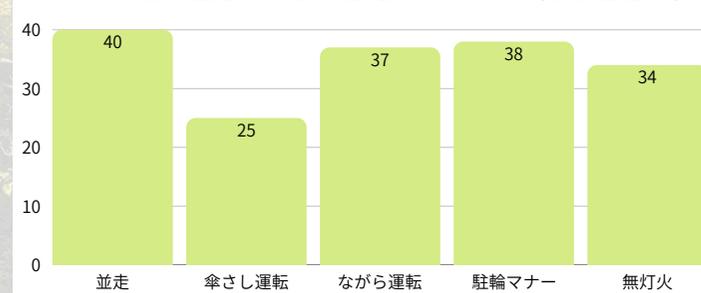


図1 アプリ「えりたん」より

🚲筑波大生の自転車マナー

筑波大生の自転車マナーはお世辞にもあまり良いとは言えません。以下は、総合生を対象に聞いた、「筑波大生に直してほしい自転車のマナー」のアンケート結果です。今回は、この中でも回答の多かった「並走」、「駐輪マナー」、「ながら運転」についてお伝えしたいと思います。

筑波大生に直してほしい自転車のマナー (複数回答可)



□並走

並走は特に授業と授業の間の教室移動の際によく見られます。「次の時間も友達と一緒に、しゃべりながら行きたい」と思うこともあるでしょう。しかし、先述のペDESTリアンデッキは場所によっては少し狭いところがあり、並んで走るとほかの人が通れなくなってしまうことがあります。だからといってベルをむやみやたらに鳴らすのは**道路交通法違反**になってしまいます。

□駐輪マナー

大学内には、各施設の近くに駐輪場が設けられていますが、多くの駐輪場では自転車を停めてよい場所が決まっています。しかし、決められた区画をはみ出して駐輪している自転車が**多く**、通行の妨げにもなっているというのが現状です。

□ながら運転

ながら運転にも種類があると思いますが、大学内で主に見られるのは「**イヤホンで音楽を聴きながら**」と「**スマホを操作しながら**」の二つです。これらの行為は、いずれも周囲の状況を気づきにくくし事故を引き起こす大きな要因になり得ます。

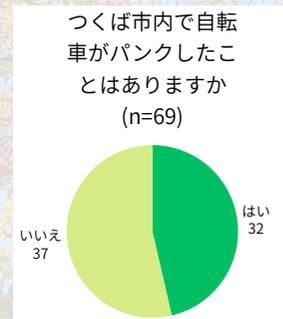
また、雨の日には「**傘さし運転**」が大学内外を問わず見られます。現在ヘルメットの着用は努力義務であって強制ではありませんが、万が一の事故に備え、着用したほうが良いと感じます。

道路交通法の改正によって、**皆さんが入学する4月から、自転車の違反行為に対しても自動車と同様に青切符が導入**されます。その際支払わなければならない罰金は内容によって異なりますが、高いものだと**12000円**（スマホを使用しながらの運転）、並走でも**3000円**の反則金が課されてしまいます。また、「イヤホンを着用しながらの運転は両耳だと違反だが、片耳のみの着用や骨伝導型イヤホンといった周囲の音が聞こえる状態であれば違反ではない」などの細かいルールも定められています。YouTubeなどの動画にもまとめられているので、一度確認してみると良いかもしれません。

🚲自転車にまつわるサービス

□自転車屋

つくば市は“自転車のまち”と謳う一方で、**パンクしやすい**と感じる人も多いようです。総合生を対象に行った「つくば市内で自転車がパンクしたことがありますか」というアンケートでは、半数近くの人が「パンクしたことがある」と回答しています。パンクしたときに頼りになるのが自転車屋さんです。大学の近くには、「**井上サイクル**」と「**中島モーターサイクル**」の二つがあります。筆者の自転車が一度パンクした際には井上サイクルを利用しましたが、店主の癖がとにかく強かったのを覚えています（「街の自転車屋で買わないからこんなことになるんだ！」と説教されました。ちなみに、ここで自転車を買うと在学中は修理代が無料になるとかなんとか…。筆者の身の回りでは中島モーターサイクルを利用している人が多いように感じます。



□空気入れ

公共で使える空気入れとしては、**Student Commons 前の手動空気入れ、各宿舎の共用棟に設置してある空気入れ**、距離は離れますが、**イーアスつくばの電動空気入れ**もあります。なお、Student Commons 前の空気入れについては、人文社会工リア支援室の開室時間内でのみ使用可能なため、注意が必要です。

□サブスクリプションサービス

新生活を始めるにあたって、新たな自転車の購入を検討している方もいると思いますが、筑波大学にはCycle Chicという自転車屋さんが行っている**自転車のサブスクリプションサービス**が存在します。これは月単位の定額料金で自転車の貸し出しを行うサービスであり、意外と多くの学生が利用しているようです。簡単に自転車を乗り換えられたり、卒業時や引越時時に自転車を処分する必要がなくなったりするなどのメリットがあります。「**大学生のうちしか自転車に乗る機会がないかも**」という人にはぴったりかもしれません。

編集後記

まずは、パンフレットの制作に携わってくれた幹部とパンフ班の皆さん、記事を作成するうえで、参考にさせていただいた過去の記事を執筆してくれた先輩方、パンフレット制作で真摯に相談に乗ってくださったアカサポの皆さん、本当にありがとうございました。

新入生の皆さんには幹部紹介で、前向きなエールを送ったと思うのですが、大学生活も人生と同じで山あり谷あります。どこで躓くかは人それぞれですが、今まで優等生だったのに、はじめて一人暮らしをしたら家事能力がなさすぎて自信を無くしたり、高校までは無遅刻無欠席だったのに、1限に行けない自分にショックを受けたり…

そんな自分の知らなかった一面を見つけることは往々にあります。

しかし、大学生もまだ学生で、社会人から見たら子供です！

自分のことをまだまだ分かりきっていない存在です。

失敗の1つや2つ、しっかり落ち込んだ後は自分の糧にしていって欲しいです。

「1限は起きれないけど、ぶっ通しの授業は耐えられるから、2限以降に詰め込んで全体作ろう！」だったり、「掃除する気は湧かないけど、友達が来るとなれば強制的に掃除できるから、積極的に家に友達呼ぼう！」だったり。

壁にぶち当たってしまったとしても自分の新しい一面を知れると思って解決策を模索してみてください。

そうすれば、きっと失敗は嫌な記憶ではなく思い出に変わると思います。

大学に入って出会う初めてのことを全力で楽しめれば、それはもう薔薇色の大学生活です。

新しい生活、思いっきり楽しんでください！

記事、編集担当：村上 陽音

おまけ～駅周辺の駐輪場～

新入生の中には、足繁く東京に通いたい人もいますが、筑波キャンパスからつくば駅までは徒歩40分も掛かります。大体の人がバスか自転車で駅へ向かうことになるでしょう。そこで、今回は駅周辺の駐輪場を紹介したいと思います(右下図)。

個人的におすすめの駐輪場は③⑦⑧⑨⑬です。

⑦⑨はトナリエつくばに近く、3時間までは無料で駐輪できるため、トナリエつくば、BiViつくばなど、駅周辺の施設に少し用があるときに利用しています。③⑬は、駅の入り口にまあまあ近く、空いていることも多いため、東京方面へ出かける際に利用しています。③は駐車料金が20時間100円と最安値なのが魅力ですが、その分利用する人も多く、必ず止められるとは限りません。

以下のサイトを参考に、自分好みの駐輪場を見つけてみるのもいいと思います！

(参考：<https://chari-parking.com/parking-tsukuba-station-ichizi/>)



記事担当

浅利 悠太郎
阿竹 晴紀
石井和彩
長田大翔
小野里 湊徠
金川 縁
北村 優有
木村 湊
桑原 侑
小林 佑太郎
貞廣 宇保
嶋田 真帆
橋本 奈央
村上 陽音
望月 温人
吉田 愛花

デザイン担当

石井 和彩
嶋田 真帆
高野 正志
大森 康太郎

編集担当

石井 和彩
小野里 湊徠
桑原 侑
貞廣 宇保
嶋田 真帆
鈴木 琴子
田村 一花
橋本 奈央
花井 深雪
村上 陽音

Special Thanks

アカサポの皆さん
新井 駿太郎
金子 陽友
木村 侃
小瀨 佑介
小林 慎
小林 岳広
佐藤 涼平
松永 唯永
溝田 光志
望月 温人

発行 令和8年度総合学域群
新入生歓迎委員会